

平成27年度第3回伊勢志摩サミット市町連絡調整会議

事項書

日時：平成27年11月26日（木）

13:30～14:30

場所：三重県労働者福祉会館

5階 第2教室

1. 開会

2. 協議事項

- (1) 「伊勢志摩サミット三重県民会議」への県内各市町の参画について（資料1）
- (2) インフォメーション機能の整備について（資料2-16-1、2）
- (3) クリーンアップ活動（環境美化・清掃活動）について（資料2-8-1）
- (4) 花いっぱいおもてなし運動について（資料2-8-2）
- (5) ジュニアサミットの三重県開催決定について（資料2-3）
- (6) 三重県情報館（仮称）について（資料2-13）

3. 報告事項

- (1) 伊勢志摩サミット三重県民会議事業の概要について（資料2-1～17）
- (2) 協賛・応援・寄附の状況について（資料3）
- (3) 今後のスケジュールについて（資料4）
- (4) サミットに関連する会議等の設置に係る各市町の状況について（資料5）
- (5) 各部局からの報告について

①伊勢志摩サミットを契機とした地方創生連携事業の状況

—県内市町の地方創生に係る上乗せ交付金と新型交付金への対応について—

（三重県地域連携部市町行財政課）

（資料6-1）

②農林水産部が実施している伊勢志摩サミット関連イベント等について

（三重県農林水産部フードイノベーション課）

（資料6-2）

③おもてなし経営実践道場について

（三重県雇用経済部中小企業・サービス産業振興課）

4. 閉会

【配付資料】

- ・資料1：「伊勢志摩サミット三重県民会議」への県内各市町の参画について
- ・資料2-1：伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて
- ・資料2-2：配偶者プログラムについて
- ・資料2-3：ジュニアサミットについて
- ・資料2-4：シンボルマークの作成について
- ・資料2-5：第2回伊勢志摩サミットフォーラムの開催について
- ・資料2-6：県産食材等の利用促進に向けた取組について
- ・資料2-7：弁当供給体制の整備について
- ・資料2-8-1：クリーンアップ活動（環境美化・清掃活動）について
- ・資料2-8-2：花いっぱいおもてなし運動について
- ・資料2-9：ホームページ・SNSのリニューアル及び運営について
- ・資料2-10：伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について
- ・資料2-11：カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開
- ・資料2-12：プレス等を活用した情報発信の展開について
- ・資料2-13：三重県情報館（仮称）について
- ・資料2-14：三重県情報誌及びプレス用ハンドブックの作成について
- ・資料2-15：多様な主体における国際理解・国際交流事業について
- ・資料2-16-1：インフォメーション機能の整備について
- ・資料2-16-2：外国語案内ボランティアについて
- ・資料2-17-1：外務省飯倉公館でのセミナー及びレセプションの開催について
- ・資料2-17-2：住民懇話会の開催について
- ・資料3：協賛・応援・寄附の状況について
- ・資料4：今後のスケジュールについて
- ・資料5：サミットに関連する会議等の設置に係る各市町の状況
- ・資料6-1：伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業の状況
 - 県内市町の地方創生に係る上乗せ交付金と新型交付金への対応について-
- ・資料6-2：農林水産部が実施している伊勢志摩サミット関連イベント等について

「伊勢志摩サミット三重県民会議」への県内各市町の参画について

平成27年11月26日
三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局
(伊勢志摩サミット三重県民会議事務局)

1 要旨

ジュニアサミットの三重県内開催の決定（主会場：桑名市）、県民会議主催の第1回プレスツアーの伊賀地域での実施計画など、各種事業における三重県内全域での展開が本格化し、また、全県的な取り組みとなるクリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動についても活動が具体化しつつあります。そこで、今後、更なる全県的な開催機運の醸成を図っていくことを目的として、県内各市町にも直接「伊勢志摩サミット三重県民会議」（以下「県民会議」という。）の会員としてご参画いただきたいと考えております。

※参考 伊勢志摩サミット三重県民会議規約

第4条 県民会議の会員は、別表1のとおりとする。ただし、設立総会以降参加希望の申し出があったものについては、この限りでない。

2 前項ただし書きの申し出があった場合は、会長は、これを役員会に諮らなければならない。

2 会員参画に関する経緯

○県民会議設立時（6月26日）

県全体の総力を結集し、幅広い分野から多くの関係者の協力を得るという基本方針のもと、会員は、原則、特定の企業等ではなく、各分野を代表する関係団体、NPO等で構成。（電気・通信、交通・運輸関係では、例外あり）全105団体
※市町関係では、地元4市町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町）及び三重県市長会、三重県町村会が参画

○第2回役員会（9月16日開催）

連携を強化すべき分野（産業・経済関係、交通・運輸・警備関係、環境・市民関係、医療・衛生関係）において9会員を追加。全114団体

3 会員参画いただいた場合の今後の予定等

○今回、新規参画いただきたい25市町は、「会員」としてのご参画と考えています。

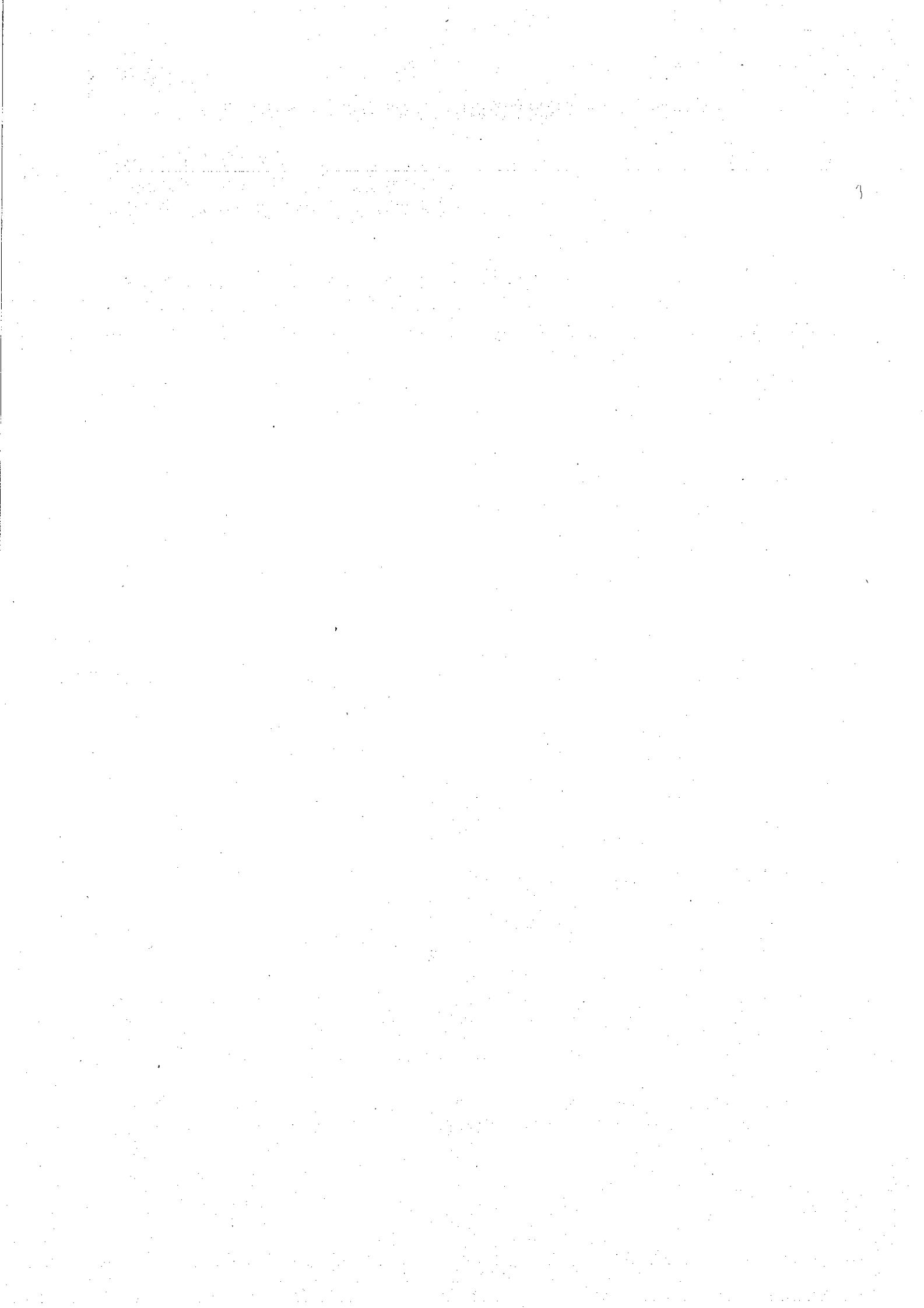
※現在、地元4市町及び三重県市長会、三重県町村会は、「役員」としてご参画いただいているところです。

○第3回役員会（12月18日開催予定）

（会員参画の申し出をいただいた場合は、）役員会の承認を経て県内25市町も県民会議への参画となります。全139団体

○（会員参画いただいた場合は、）25市町に対する県民会議予算への負担は考えていません。

○（会員参画いただいた場合は、）次回総会（3～4月開催予定）の開催案内をさせていただきますほか、県民会議の取組等に関する情報連携を図らせていただきます予定です。



平成27年11月26日
開催支援課

伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて

1 目的

サミット開催時に集中的に来県する関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するとともに、宿泊者及び宿泊施設に対する適切なサポートや三重県の観光振興につながる取組を行う。

2 取組内容

(1) センターの役割

伊勢志摩サミット三重県民会議が公認する宿泊予約センターとして、サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込み、配宿、精算、情報提供などのサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う。

(2) 宿泊予約取扱対象者

各国代表団、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、医療関係者、報道関係者等

(3) センター概要

①開設日 平成27年8月24日（月）

②運営事業者 伊勢志摩サミットに係る宿泊手配等業務コンソーシアム
※株式会社JTB中部（代表）、近畿日本ツーリスト株式会社、
株式会社日本旅行の3社による共同事業体

③住 所 三重県津市羽所町375 百五・明治安田ビル5階

④電話番号 059-228-8450

⑤営業時間 平日9時30分から17時30分まで（土日祝は休業）

(4) 宿泊施設確保状況

3月24日から5月29日までを5つの期間に分けて、それぞれの期間に必要と想定される客室を確保できるよう、伊勢志摩地域を中心に、主に海外メディア向けとなるビジネスホテル（洋室）については津・亀山・鈴鹿以南の地域まで対象を拡げて取り組んでいます。

現時点で、最大25000人の宿泊を想定するサミット開催前後（5月24日から29日）の期間以外は、必要数を確保出来ていますが、同期間については、会場周辺及びメディア向け洋室のある施設を中心にもう一段の取組みが必要な状況です。

7月に、宿泊対象となりうる施設に対し当面の間、GW明けからサミット開催までの期間の宿泊予約を受付ないよう協力を依頼しましたが、この依頼は10月16日に解消しました。また宿泊予約センターによる配宿への協力申し出があつた客室についても、使用見込みのない期間・地域の客室については、11月10日以降、順次、各施設への返還作業を始めています。

なおGW期間中は、宿泊予約センターがサミット関係者用に確保している客室もそれほど多くなく、センターの確保分以外は各宿泊施設が通常通りの営業を行っていますので、一般観光客の利用について特別な制限は有りません。

3 事業実施スケジュール（予定）

- ・ 8月31日～9月7日 宿泊施設向け説明会の開催
(伊勢市、志摩市、鳥羽市、津市で計10回)
- ・ 9月～ 必要な客室数の確保
- ・ 10月～ センター新事務所開設、宿泊希望者からの問合せ対応・調整
- ・ 11月～ 確保済み客室の内、使用見込みのない客室の返還（隨時）
- ・ 12月～ 宿泊予約センターホームページの立ち上げ
- ・ 1月 宿泊施設に対する配宿計画案の提示
- ・ 2～4月 宿泊施設向け外国人おもてなしセミナーの開催

平成27年11月26日
開催支援課

配偶者プログラムについて

1 目的

国に対し配偶者プログラムの訪問先や体験内容等についての提案を行うことで、美しい自然や豊かな文化・伝統などの三重の魅力をプログラムに盛り込み、三重の魅力を世界に向けて発信していく。

2 取組方針

- (1) 国が行う配偶者プログラムに、三重県としての提案を盛り込んでもらう。
- (2) 首脳会議が1泊2日で予定されており、配偶者プログラムもその期間内での実施となる（想定：5月26日午後、27日午前）。ただし、日程を勘案するとそれぞれ半日程度の行程となり、賢島から遠距離への訪問はできない。

3 取組状況

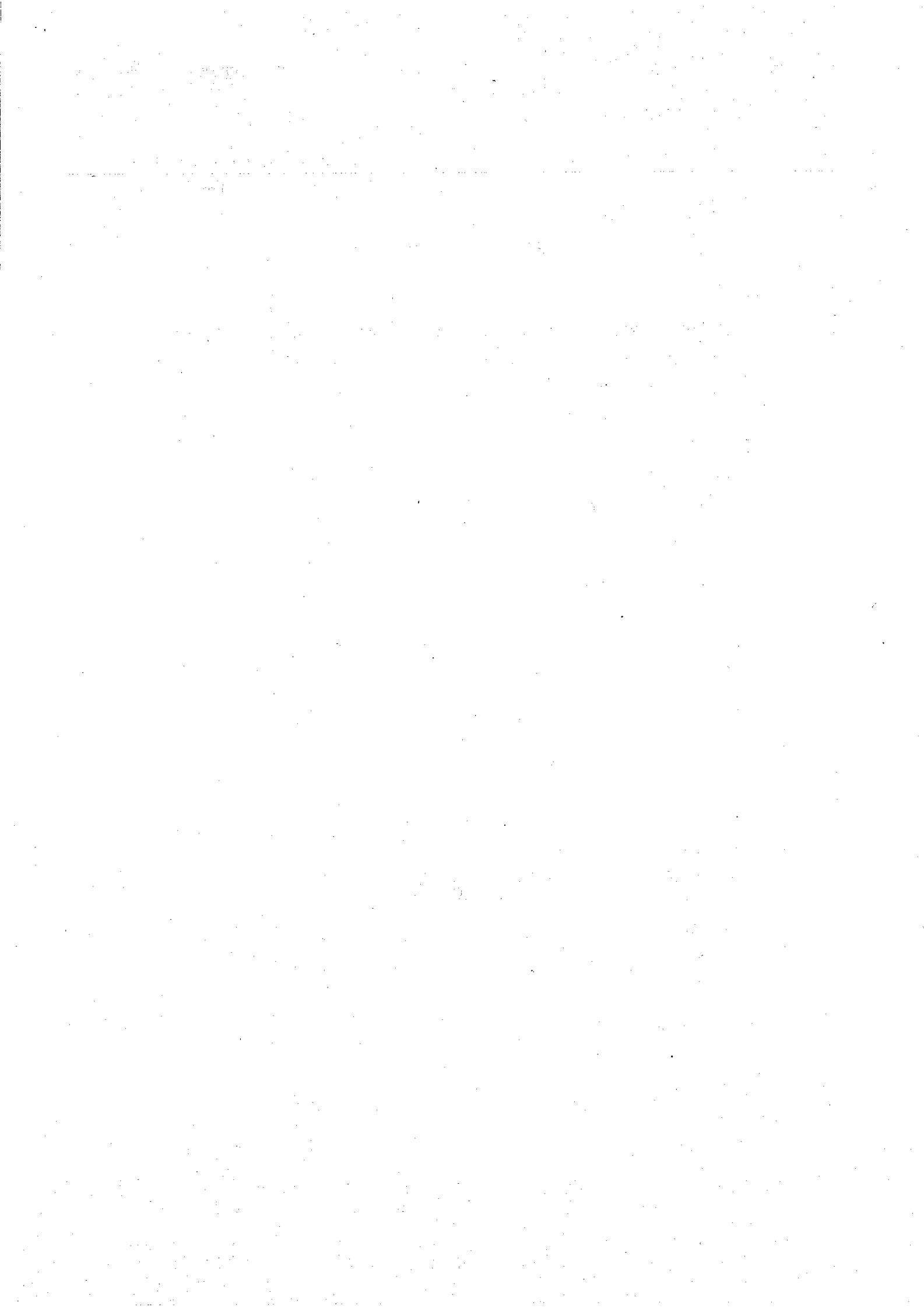
テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討のうえ、県としての案を決定し、10月9日（金）に、知事から外務省に対し、提案を行った。

- ・テーマ :「伊勢志摩にみる日本の伝統・文化」
- ・キーワード :「多様性」「持続性」「独創性」「女性」「食」

4 今後の進め方

三重県提案の採用を検討段階の外務省に改めて働きかける。検討に際し、具体化が必要な内容に関しては調整のうえ、情報提供を行っていく。

国が配偶者プログラムの訪問先等を決定した後は、県民会議の担当となる行程について、県民会議としてコンテンツを具体に検討し実施する。



平成 27 年 11 月 26 日

事業推進課

ジュニアサミットについて

1 目的

ジュニアサミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達に交流機会を提供します。

2 これまでの経緯

- 8月 5日 鈴木知事から中山泰秀外務副大臣に本県開催を強く要望
9月 17日 伊勢志摩サミット推進局長から外務省大臣官房人物交流室長に、開催日程（案）や討議テーマ及び討議に資する視察先を提案
10月 27日 外務省飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション」にて、岸田文雄外務大臣がジュニアサミットの三重県開催を発表
【開催時期】 平成 28 年 4 月 22 日から
【開催場所】 三重県桑名市を主会場とし、県内各地で視察、交流イベントを行う形で開催
11月 17日 「2016 年ジュニア・サミット in 三重」日本代表参加者募集開始

3 事業の概要

(1) 開催内容について

平成 27 年 11 月 11 日、外務省からジュニアサミットの参加募集要領が示され、下記の内容で開催されることとなりました。

- ・名称：「2016 年ジュニア・サミット in 三重」
- ・開催期間（予定）：平成 28 年 4 月 22 日から 28 日まで
(4 月 21 日会場入り、4 月 29 日東京出発)
- ・主催：日本国外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議
- ・会議（討議）テーマ（案）：「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」
- ・参加者：G7 各国の原則として 15 歳～18 歳の 4 名のチーム（男性 2 名、女性 2 名）及び付添人 1 名
- ・使用言語：英語
- ・プログラム（暫定）
 - 4 月 21 日（木）桑名市到着
 - 4 月 22 日（金）開会式、会議
 - 4 月 23 日（土）会議、視察
 - 4 月 24 日（日）交流行事
 - 4 月 25 日（月）会議
 - 4 月 26 日（火）会議、閉会式、東京に移動
 - 4 月 27 日（水）政府首脳に成果文書提出（27 日又は 28 日）、都内視察
 - 4 月 28 日（木）同上
 - 4 月 29 日（金）東京出発

(2) 日本代表チームの選考について

日本代表チームについて、三重県内から4名（男性2名、女性2名）及び付添人1名を平成28年2月29日までに選考するよう外務省から通知があり、三重県教育委員会及び環境生活部私学課に選考を依頼し、次のとおり募集を開始しました。

【応募資格】

- (1) 日本国籍を有していること。
- (2) 原則として平成28年4月22日現在で15歳～18歳であること。
- (3) 三重県内に在住している者、または三重県内に通勤・通学等をしている者
- (4) 国際交流や国際問題について関心があること。
- (5) 心身ともに健康であること。
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準に相当する英語力を有し、意思疎通能力が充分にあるもの
 - ア 英検 準1級以上
 - イ TOEFL iBT 72点以上
 - ウ IELTS 5.5以上
 - エ TOEIC 785点以上
- (7) 選考会、「2016年ジュニア・サミットin三重」の全日程及び事前研修（平成28年1月から平成28年4月までの期間で、のべ7回程度、土日祝日に実施を予定）に出席可能な者
- (8) 参加について親権者の同意が得られること

【募集期間】

平成27年11月17日（火）～12月7日（月）17時まで

【選考方法】

選考会を開催し、書類審査、面接審査及び口述審査を行い、すべての審査から総合的に判断して選考します。

【選考会実施日】

平成27年12月19日（土）

4 今後の取組方針

- (1) 日本代表チームについて、県内の高校生等から選出し、開催に向けて事前研修を行います。
- (2) 三重県ならではの歓迎・交流行事や、県内高校生等との交流を含む県内各地分散型の体験・交流の具体的なプランについて、改めて国に提案を行います。（現在、県内各市町に対し、国に提案するためのコンテンツを照会中。）
- (3) 開催日程を通して、県内高校生等が参加者と交流できる機会を可能な限り設けられるよう、外務省と協議します。
- (4) 開催に向け、参加者の歓迎や受け入れ等について、主会場となる桑名市をはじめ、北勢地域の市町や県内の関係者と緊密な連携を図っていきます。

平成 27 年 11 月 26 日

事業推進課

シンボルマークの作成について

1 目的

国によるロゴマークの決定は平成 28 年 1 月以降と見込まれています。

国の決定に先んじて、県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民ができるだけ早期に、かつ自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで開催機運の醸成を図ります。

また、選定の考え方自体を県民会議の活動方針の象徴とし、県内外に強いメッセージを伝えていきます。

2 作成方法

(1) 作成方針

シンボルマーク作成のプロセス自体に県民会議からのメッセージを込め、県内外に発信しました。

① 近藤敦也氏に作成を依頼（平成 27 年 8 月 21 日）

近藤氏は北勢きらら学園在校時の作品が平成 20 年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用され、その後、筋ジストロフィーという難病を抱えながらも、夢であったグラフィックデザインの仕事に従事され、現在に至るまで継続的にデザインに関わっておられます。

同氏にシンボルマークを作成いただくことで、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信します。

② シンボルマークの県民投票（平成 27 年 9 月 25 日～10 月 1 日）

県民会議の基本的な考え方である「さまざまな県民が準備段階から事業の企画に携わり、実施して、サミットに参画する」ということを実現するため、近藤氏に作成いただくシンボルマーク数案を、県民投票へかける機会を設けました。

※ 投票総数 3,577 票

③ シンボルマークの県民会議会長、副会長、理事による投票（平成 27 年 10 月 2 日～10 月 5 日）

県民投票の結果、上位 2 案に対して県民会議会長、副会長、理事による最終投票を実施しました。

④ シンボルマークの決定（平成 27 年 10 月 13 日）

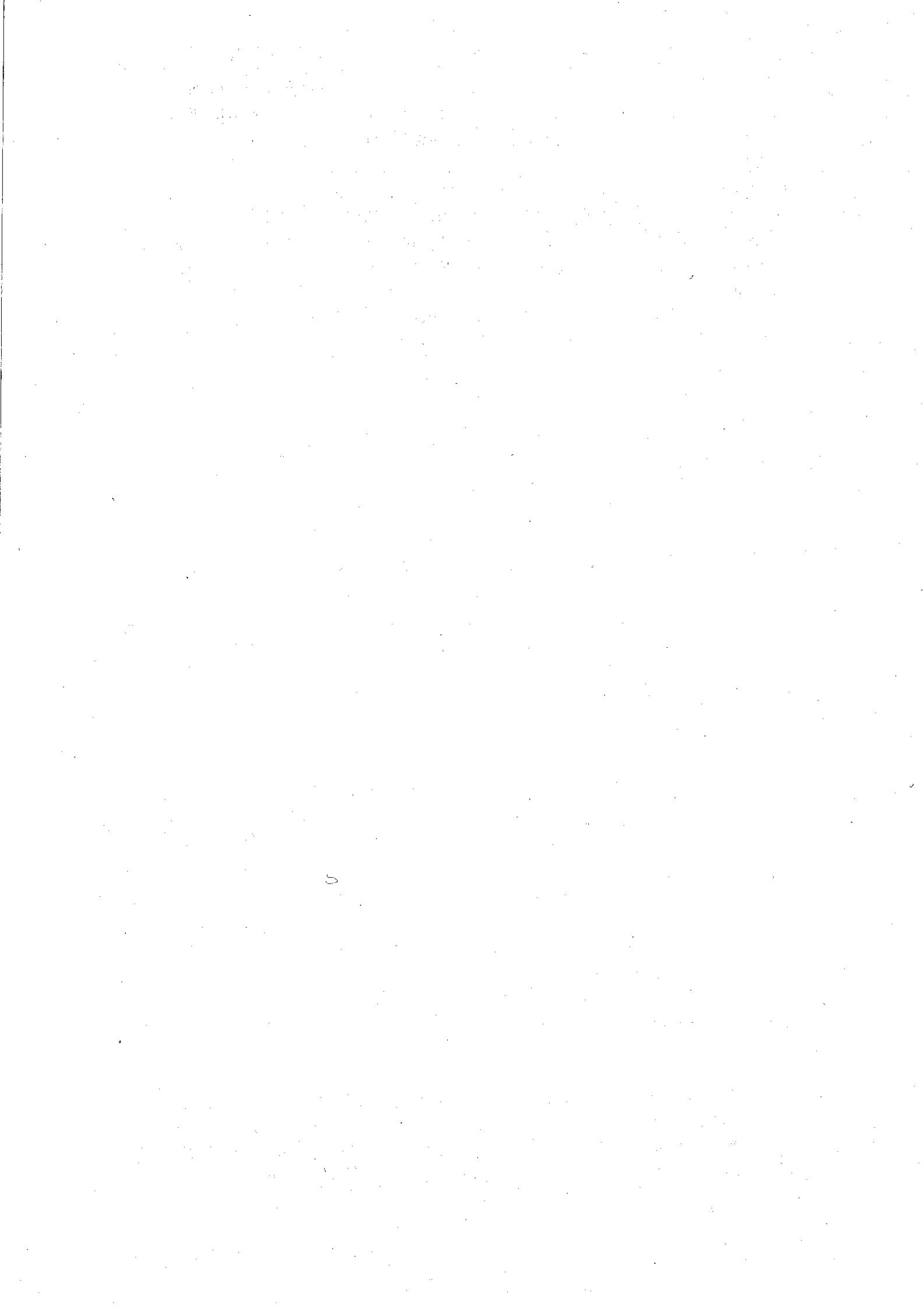
3 作成後の展開

(1) 県民会議としての展開

バッジ、名刺、広報用資料、ポスター、封筒、懸垂幕等幅広く展開します。

(2) 協賛事業としての展開

県内外の企業・団体・個人による応援事業や企業・団体からの協賛の枠組みを活用してシンボルマークを活用頂くことで、広く展開します。



平成 27 年 11 月 26 日
事業推進課

第 2 回伊勢志摩サミットフォーラムの開催について

- 1 日時 平成 28 年 1 月 16 日 (土) 13 時 00 分～15 時 45 分 (開場 12 時 00 分)
- 2 場所 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂 (鈴鹿市南玉垣町 3500-3)

3 内容

- (1) 挨拶 鈴木伊勢志摩サミット三重県民会議会長 (三重県知事)、末松鈴鹿市長
- (2) 講演 「伊勢志摩サミットのレガシーを生み出す”おもてなし”戦略とは」
講師 中村好明 氏 (ドンキホーテグループ 株式会社 J I S 代表取締役社長)
- (3) トークセッション
「おもてなし、食を中心とした情報発信、サミットのレガシー（遺産）について」
スピーカー
 - 山田文比古 氏 (東京外国語大学教授、元沖縄県サミット推進事務局長)
 - 清水慎一郎 氏 (清水清三郎商店株式会社代表取締役)
 - ラース・ニコライゼン 氏 (ドイツ通信社東京支局長)
 - 中村好明 氏 (ドン・キホーテグループ株式会社 J I S 代表取締役社長)
 - 未定 (外務省)
 - コーディネーター
 - 鈴木英敬伊勢志摩サミット三重県民会議会長 (三重県知事)

- 4 定員 600 名 (事前申込制・申込超過の場合は抽選あり)

5 今後に向けて

第 3 回伊勢志摩サミットフォーラムは、平成 28 年 3 月または 4 月を目途に、開催を予定しています。



資料 2-6

平成 27 年 1 月 26 日
開催支援課

県産食材等の利用促進に向けた取組について

1 目的

伊勢志摩サミット開催を契機とし、質の高い県産食材等のPRを行うことで、需要拡大及び販売促進につなげていく。

2 基本的な考え方

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案していく。

3 取組状況

10月9日（金）に、知事から外務省に対し、積極的に県産食材等を活用されるよう以下のリストを提出し要望を行った。

- ・食 材：各市町から提出された推薦食材を集約してリストを作成。
- ・加工品：県内に主たる事業所がある事業者が製造又は加工した食品や、江戸時代以前から県内で製造・販売されている餅菓子について公募を行い、みえセレクション選定品を含め、審査会を経てリストを作成。
- ・日本酒：関係機関と調整のうえ、全国新酒鑑評会で受賞された日本酒をはじめ、三重県に存する蔵元が獎める日本酒をとりまとめリストを作成。

外務省への要望後は、ホテル・旅館への提案活動を実施している。

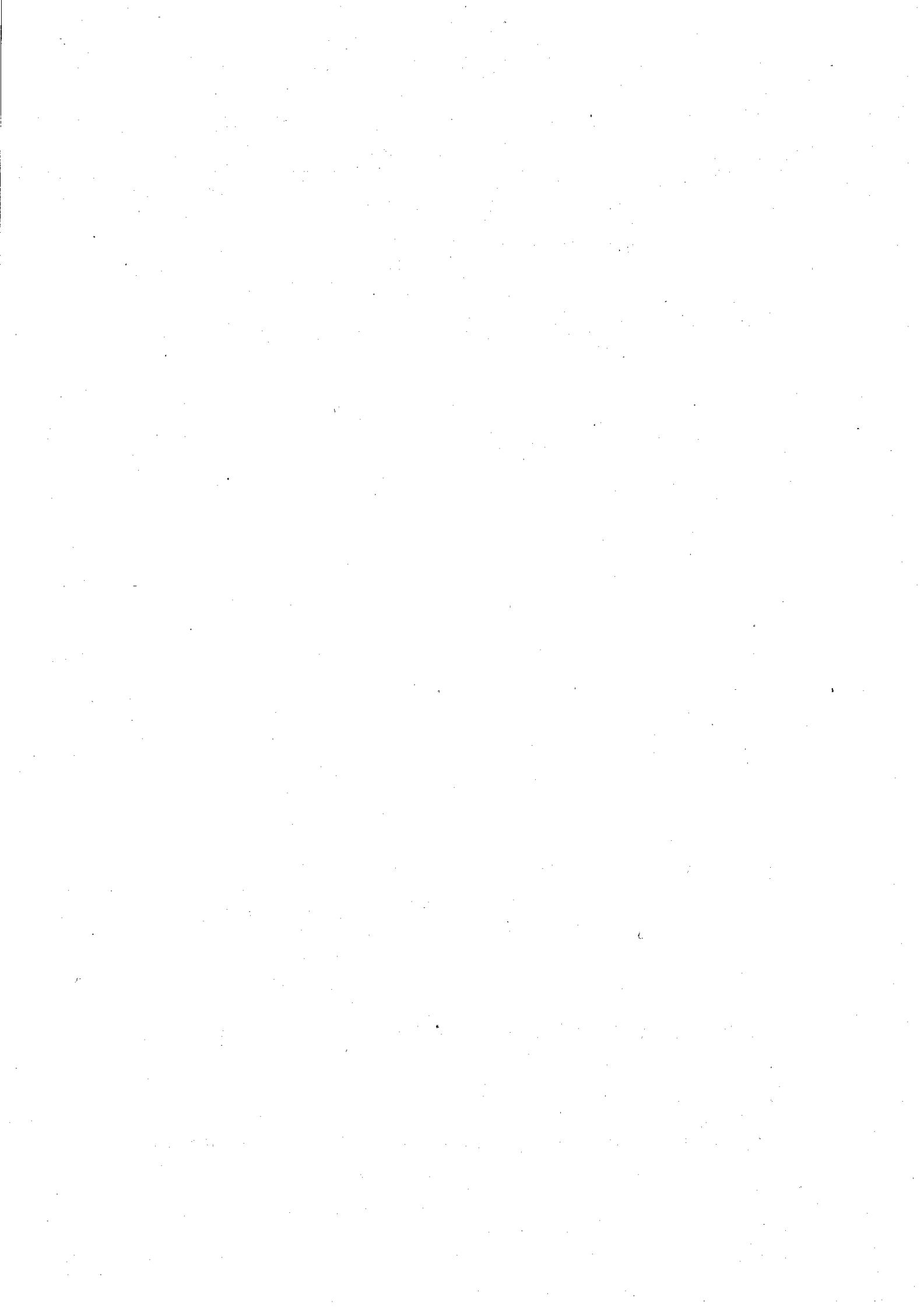
※志摩市、鳥羽市のホテルを中心に雇用経済部、農林水産部と協同し、上記のリストを持参しての提案活動を実施中。

同時に、12月1日（火）に、農林水産部が主催する「三重の食材を知る会 VOL. 1」（開催場所：伊勢安土桃山文化村）への参加も呼び掛け、活用の推進を促していく

この他に、警備関係者等を対象とする弁当供給業務においても、供給事業者に対し、県産米の使用と県産食材の積極的活用を求めている。

4 今後の進め方

各国の宿泊ホテル決定後に、第2回の提案活動を予定しており、積極的な採用を提案していく。



平成27年11月26日
開催支援課

弁当供給体制の整備について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供することを目的とする。

2 取組内容

(1) 業務内容

弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収

(2) 取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等を想定

(3) 整備する供給体制

①屋外保管を前提とする大規模かつ継続的な弁当需要（以下、大規模需要）への対応

②屋内保管を前提とする比較的小規模かつ短期・不定期な弁当需要（以下、小規模需要）への対応

3 大規模需要への対応について

(1) 弁当供給に係る想定

弁当の供給について、現時点での「発注数の推移」「配送先への弁当到着時間」「配送先」の想定は、別添のとおりであり、この想定を満たす体制を整備できるよう、企画提案コンペを実施し、業務実施事業者を選定する。

(2) 事業者選定に係る最重要方針

万全の食品衛生管理体制が確保できることを最重要方針とし、弁当の製造過程において、H A C C P 及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施するとともに、提供する弁当について、屋外で保管されることを想定し、三重県が定める食品の衛生管理指標の目標値の達成及び異物混入対策として金属探知機での検査を求ることとする。

(3) 検査指導体制

万全の食品衛生管理体制を確保するため、県内の弁当製造施設については、月2回程度の監視指導を実施することとする。

(4) 県内事業者の参画

事業者選定にあたっては、仕様書に、県内弁当製造事業者を一社以上含めることを参加資格にするとともに、配送事業者等についても可能な限り県内事業者を多く参画させるよう規定し、その参画度合を選定の評価基準の一つとすることで、県内事業者の参画を確保する。

ただし、弁当製造施設数については、十分な検査指導体制を確保できることが前提となる。

【地区割りについて】

弁当の配達場所を、比較的大きな「志摩市」及び規模の小さな「津市・伊勢市・鳥羽市」の2地区に分けて、企画提案コンペを実施することにより、十分な検査指導体制を確保しつつ、県内事業者の活用をより促進する。

(5) 県産食材の活用

県産米を使用するとともに、その他の県産食材についても、可能な限り使用に努めるよう企画提案コンペの仕様書に規定する。

また、フードイノベーション課と連携して県民会議の方から食材及びメニューの提案を行うことで、企画提案の内容に止めることなく、県産食材の活用促進に努める。

(6) 企画提案コンペの審査基準

① 業務遂行能力に関する事項

弁当の受注処理体制、製造能力、各地域への配達体制及び県内事業者の参画状況、危機事案発生時の対応などから判断する。

② 衛生管理に関する事項

食中毒及び異物混入防止に向けた食品衛生対策などから判断する。

③ 食材及びメニューに関する事項

県産食材の活用及びバリエーションに富んだメニュー作りなどから判断する。

④ 環境への配慮に関する事項

ゴミの減量化やCO₂の削減に向けた取組などから判断する。

(7) 今後のスケジュール

平成27年10月30日	企画提案コンペ 公募開始
11月30日	企画提案コンペ 公募締切
12月10日	プレゼンテーション・ヒアリング審査 最優秀提案決定 食品衛生状況確認、業務内容協議・確定
平成28年 1月	協定書締結 弁当受注窓口設置

4 小規模需要への対応について

宿泊者の昼食需要への対応など食事の提供に課題のある宿泊施設や、国際メディアセンター内の支援事業者、海上保安庁職員の一部など、屋内保管が可能で、比較的小規模かつ短期・不定期な弁当需要に対しては、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、各地域の商工団体等とも協力しながら、両者のマッチングを促進する。

伊勢志摩サミット弁当供給業務（大規模需要）に係る想定

1 発注数の推移

期間	1日1食の弁当見込数			備考
	朝	昼	夕	
3/24～4/21	300個	900個	300個	
4/22～5/9	2,200個	6,600個	2,200個	
5/10～5/18	3,300個	10,000個	3,300個	
5/19～5/28	5,000個	16,000個	5,000個	

2 配送先への弁当到着時間

朝	午前4時から午前5時
昼	午前9時から午前10時
夜	午後3時から午後4時

3 配送先

市名	箇所数	場所
志摩市	数か所	(未定)
伊勢市	1～数か所	(未定)
鳥羽市	1～数か所	(未定)
津市等	1～数か所	(未定)

<参考>

企画提案コンペでは、「5月26日（木）の配送場所別配送弁当数」を下記のように条件として設定し、企画提案をしていただきます。

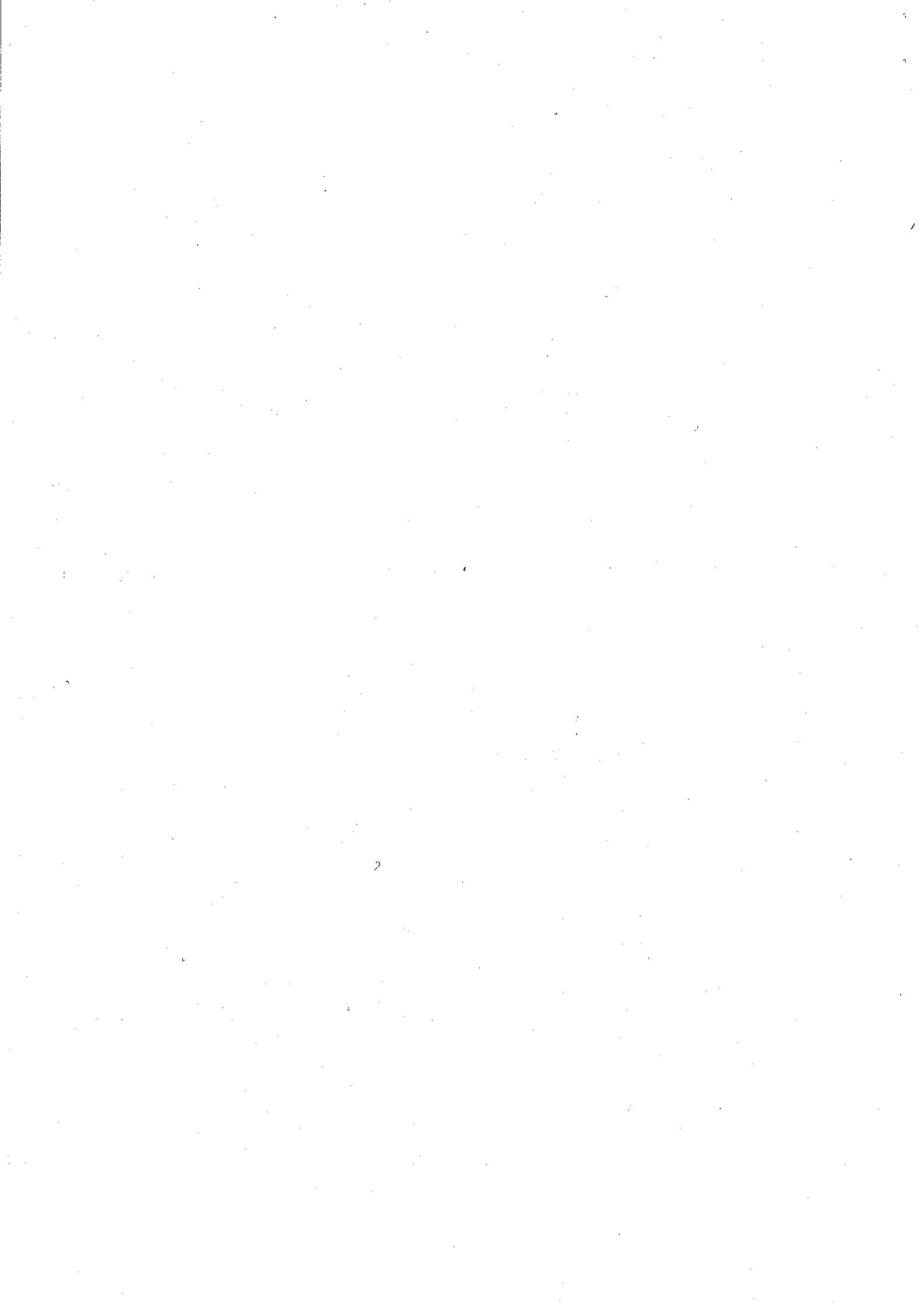
【A地区】

市名	配送場所	朝食	昼食	夜食
志摩市	志摩市役所本庁舎	1,000個	4,000個	1,000個
	志摩市役所磯部支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所浜島支所	1,000個	3,000個	1,000個
	志摩市役所大王支所	1,000個	3,000個	1,000個
合 計		4,000個	13,000個	4,000個

【B地区】

配送地区	配送場所	朝食	昼食	夜食
伊勢市	伊勢市役所	400個	1,000個	400個
鳥羽市	鳥羽市役所	300個	1,000個	300個
津市等	津市役所	300個	1,000個	300個
合 計		1,000個	3,000個	1,000個

注意：あくまでも企画提案をするための仮定の配送場所・配送弁当数です。



平成27年11月26日

事業推進課

クリーンアップ活動について

1 目的

サミット開催にあたっては、各国関係者はもとより、多くの報道関係者等が県内に訪れると予想される。

これらの来訪者に、より快適な滞在環境を提供し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わることにより、機運醸成や参加意識の向上をめざす。

2 事業概要

県民会議や県、市町及び各団体・企業等の多様な取組を活かしながら、県民が一体となって、開催地周辺のみならず全県的に協賛、応援事業の枠組も活用してクリーンアップ活動を展開する。

3 取組方針

- (1) 市町や自治会、関係団体・企業の実施しているクリーンアップ活動等を活かし、全県的な取組として展開する。
- (2) 県民参加の機運醸成のため、キックオフイベント等を実施することで一体感と発信力を高めていく

4 今後の進め方

(1) 既存の活動の活用

一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や関係団体等と協力しながら既存の活動を活用し、全県的な県民運動として展開する。

(2) 協賛、応援事業の活用

協賛、応援事業の枠組みを活用し、企業、団体が自ら行うクリーンアップ活動や物品等の提供により、企業・団体の協力を活用していく。

(3) キックオフイベントの開催

県民一人一人がおもてなしの心を持ってクリーンアップ活動を県全体で取り組んでゆくことをPRとともに、サミットに向けた機運の醸成や一体感の構築を図るため、サミット開催100日前イベントとして「伊勢志摩サミットクリーンアップおもてなし大作戦（仮）」のキックオフイベントを開催する。

①開催日

100日前ウイーク（平成28年2月16日（火））前後を予定

②開催場所

メインイベント・清掃活動を開催予定（開催市町については調整中）。

他市町においても自主的なイベント・清掃活動を開催することにより、県内全域にクリーンアップムーブメントを創出させるきっかけとする。

③参加者

県民、学生、市町、自治会、各種活動団体（NPO、ボランティア、サークル等）、企業等

④その他

軍手、ごみ袋、記念品等は、協賛・応援事業等も活用し、県民の力を合わせた活動となるよう取り組んでいく。

(4) 県内一斉美化活動期間

平成28年5月15日（日）を中心に「県内一斉美化活動期間」とし、各市町、団体等で実施している既存の清掃活動の前倒し等を要請し全県的に実施する。

(5) 花いっぱいおもてなし運動との一体的な実施

環境美化活動の一環として実施する「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」と一体的に実施することで、サミットに係る機運の醸成や参加意識の向上をめざす。

平成27年11月26日

事業推進課

花いっぱいおもてなし運動について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催にあたり、三重県を訪れる方々を、おもてなしの心と美しい花々で歓迎するとともに、一人でも多くの県民が花を育てる活動に参加することでのサミットに向けた機運を醸成するため「花いっぱいおもてなし運動」の取組を実施する。

2 事業概要

広報全体計画に基づき、サミット開催に向けての具体的なアクションの時期である「50日前ウィーク」（4月6日を中心）から、サミット本番前に、県内一斉に花の飾り付けなどを行うキックオフイベントを開催し、歓迎機運や参加意識の向上をはかる。

4月からのアクションに向けて、県、市町、団体、企業、個人等のそれぞれの特性やこれまでの取組を生かし、地域に根ざした活動を全県的に展開する。

3 取組方針

- (1) 一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や関係団体等と協力しながら既存の活動を集約するとともに、クリーンアップ活動とも連動して全県的な県民運動として展開する。
- (2) 展開にあたっては、県内の関係団体や企業等の協賛、応援なども得て苗や資材等を準備するなど、各段階において多様な主体が支える運動とする。
- (3) 「県民のアクションの時期」と位置づけた50日前ウィークには、サミット本番前にキックオフイベントを開催し、サミットの成功と歓迎機運を盛り上げるとともに、参加意識を高める。

4 今後の進め方

(1) 各主体の活動の集約

各種活動団体（NPO、ボランティア、サークル等）、個人、学校、市町、自治会、生産者、企業等多様な主体が、播種・育苗・定植・栽培管理・開花・飾花までの各段階の活動を、それぞれの特性に応じて担い、「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」として集約することで、4月から5月下旬までの開花・飾花をめざして活動する。

①播種・育苗：種を蒔いて花苗まで育成。

②定植：場所を選定し、定植作業。

※道路（街路樹木）、公園、駅前ロータリー、県・市町庁舎等の公共施設、駅構内、宿泊施設、遊園地・テーマパークなどを想定

※場所の選定にあたっては、清掃活動を行った場所に定植するなどクリーンアップ活動とも連動させていく。

③栽培管理・開花：水やり管理、雑草除去等。

④飾花：移植等による飾花。

(2) 各主体の参加形態の例

①県民会議は、「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」として各主体の参加を呼びかけ、協賛、応援事業等を活用して各主体の活動をバックアップするとともに、予算の範囲内で花苗、資材等を準備する。

- ②市町は、庁舎や関係施設の飾花で参加するとともに、既存事業も活用して管内の各主体の活動をバックアップする。
- ③各主体は、上記4(1)①～④の各段階に応じて参加を表明し、自主的に活動に参加。
- ④育苗から飾花まで、一貫した技術やノウハウ、施設・設備等を有する専門家等は、施設や技術、ノウハウ等を他の参加者に提供することで花いっぱい運動のネットワーク化を図る。
- ⑤企業、団体等は、協賛事業として関係施設での飾花で活動に参加するとともに、物品、技術等を協賛することでも活動に参加。

(例) サミット開催の影響で注目される場所、人が集まりやすい場所での飾り付け(宿泊施設、商業施設、電車駅構内、高速道路SA・PA、フェリー乗場等)や、種、苗、用土、資材、栽培施設の貸与、栽培管理、技術・ノウハウ等の提供等

(3) スケジュール

①参加募集（12月上旬～12月下旬）

県民会議は、広く「伊勢志摩サミット花いっぱいおもてなし大作戦（仮称）」への参加を呼び掛けるとともに、企業・団体等に花苗・資材等の協賛を募集する。

②植花場所の集約（12月上旬～1月中旬）

県民会議は、参加状況と協賛物品（花苗・資材等）を集約し、各参加者の栽培予定面積や活動状況に応じて配分計画を作成する。

③クリーンアップ活動との連動（2月中旬）

各団体は、100日前ウイーク（2月16日前後）に予定されているクリーンアップ活動キックオフイベント及び5月15日前後に予定されている「県内一斉美化活動期間」の時期に、植花予定地周辺の清掃作業等を実施して、植花に備える。

④飾花活動の実施（4月～）

広報全体計画の「県民のアクションの時期」である4月からサミット開催の5月下旬までの間に、キックオフイベントを開催し、歓迎機運や参加意識の向上を図るとともに、今まで育てた花苗をアレンジし、三重県内を美しく飾る飾花活動を行う。

また、「アフターサミットフラワー」としてサミット開催時等に夏咲花を播種、育成するなどのプログラムも準備し、アフターサミットにつなげていく。

平成 27 年 11 月 26 日

事業推進課

ホームページ・SNSのリニューアル及び運営について

1 目的

現存ホームページ（以下、HP）をリニューアルすることにより、県民会議の取り組む事業、住民に影響を与える事象に関する情報、国内外から来県される方のための情報（宿泊予約案内、アクセス 等）をタイムリーにわかりやすく発信します。

また、既に運用しているSNS（Facebook ページ及びTwitter）についても、HPの運営・管理と併せて運用を事業者へ委託することで、より効果的な情報発信や炎上対策等のセキュリティ強化を図ります。

2 事業の概要

HPやSNSを活用することで、県民会議の取組や三重の魅力を幅広く発信していきます。

なお、HPのリニューアル及びHP・SNSの維持管理運営については、バナー広告等で賄うことを前提に、受託事業者は業務に係る経費をすべて負担することを条件に、当該HPにおける広告収入を経費に充当できる仕組としていきます。

3 取組方針

(1) HP

「国内在住の方」及び「海外からサミット取材に訪れるプレス」を対象に発信していくため、当該HPは日・英の2カ国語対応を基本とします。

- ・ 国内向けには、県民会議の取組、協賛・連携・寄附事業の周知と依頼、各種規制情報、宿泊予約案内、三重県概要等を発信
- ・ 海外プレス向けには、三重県での滞在に関する情報（病院・警察、両替可能場所、宿泊予約案内等）、県民会議の一部の取組等を発信

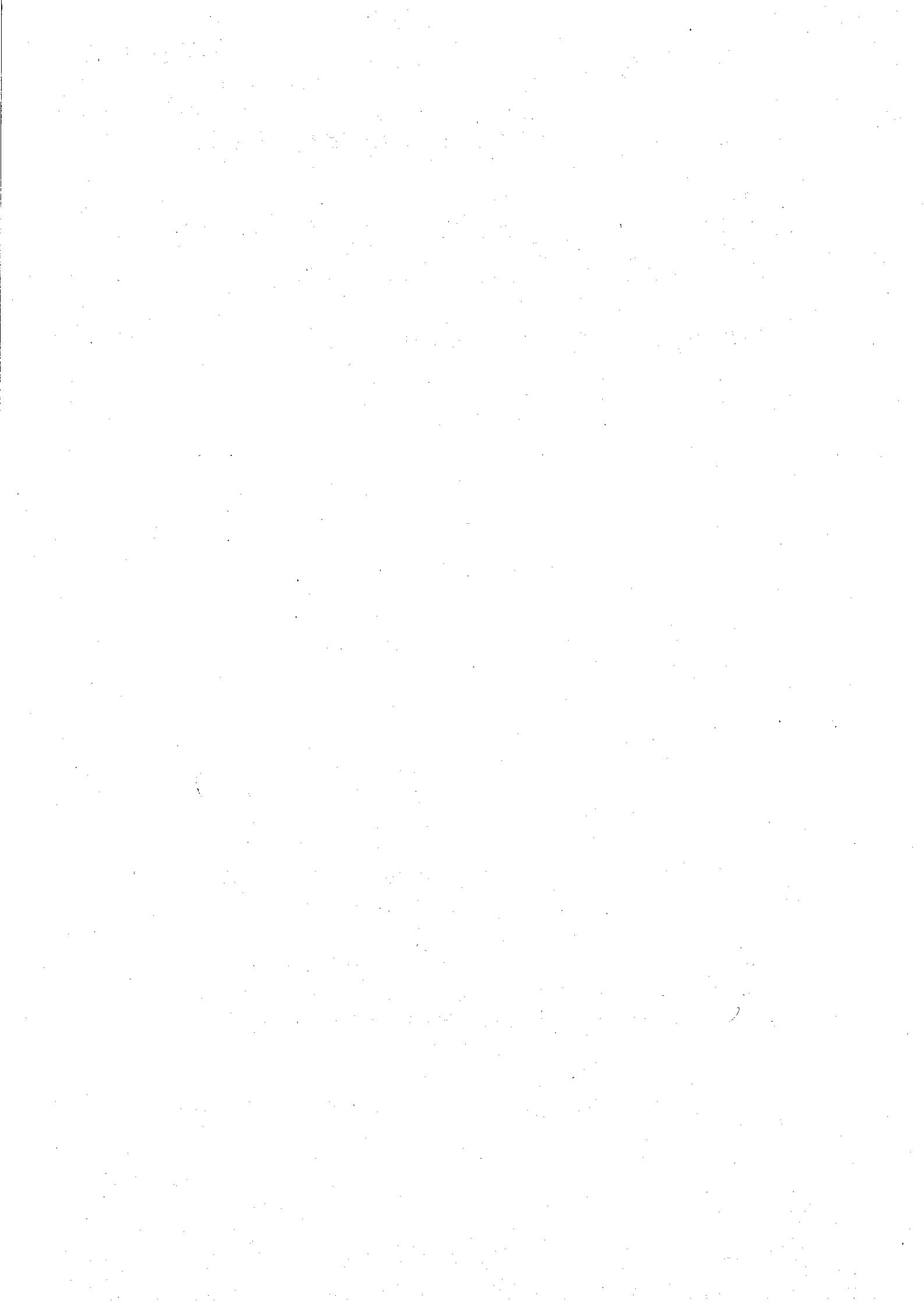
※コンテンツにあわせ、一部は多言語化を予定

(2) SNS

県内でサミットに関心のある方、サミットを契機に地元を盛り上げる意欲のある方や、県外でサミットに関心のある方、三重にゆかりや関心のある方をファンとして取り込むような発信をします。

4 今後の進め方

企画提案コンペを実施し、年内をめどにリニューアルする予定です。



平成27年11月26日

事業推進課

伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について

1 目的

三重県で開催される主要国首脳会議の成功に向け、多くの方に伊勢志摩サミットをPRするための第1弾ポスター、県民会議のシンボルマーク決定を告知する第2弾ポスターを制作したが、今後第3弾から第5弾までのポスターを作成することで、サミット開催への期待感と「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」への県民の意識の醸成を図ることを目的とする。

2 ポスターシリーズの基本構成

開催機運と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする。

第1弾 「起」: サミットが伊勢志摩で開催されることをPRし、期待感を醸成

第2弾 「承」: 県民会議の象徴となるシンボルマーク決定告知

★第3・4弾 「転」: ポスターの公募

第5弾 「結」: 「明日へつなぐ」をテーマに、県民のこれまでの活動を振り返り
サミット終了が新たなスタートと訴求

3 第3弾ポスターの公募

- ・第3弾ポスターは、より高品質なポスターとするため公募形式とする。
- ・ポスターのテーマを「サミット開催に向けてのおもてなしの心」とする。
「おもてなし」や「歓迎」といった伝わりにくいテーマを人々に訴えかけるポスターとして表現することで、県民の意識啓発を目指す。
- ・ポスターの印刷や配布については、企業等の協賛を募集する。
- ・なお、第4弾のポスターについても公募を想定。

①期間 平成27年10月14日(水)から11月13日(金)(募集終了)

②応募件数 22件

③選考委員 5名

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| (座長) 水谷孝次 氏 | 水谷事務所／MERRY PROJECT 代表・アートディレクター |
| 田端英明 氏 | 公益社団法人 三重県観光連盟専務理事 |
| 江崎貴久 氏 | 海島遊民くらぶ代表 |
| 三田絢子 氏 | 有限会社伊勢福・広報担当 |
| 森本佳菜 氏 | 三重大学大学院工学研究科建築学専攻博士
前期課程在学中 |

④選考基準

デザイン性、テーマの表現性、誘客性を選考基準とする

平成27年11月26日

事業推進課

4 第3弾ポスター スケジュール

- 10月13日(火) 県民会議総会にて発表
14日(水) 募集開始
11月13日(金) 募集終了
11月19日(木) 第一次審査(～24日までに各委員が推薦作品を報告)
11月26日(木) 第二次審査(4作品を選定)
11月27日(金) 著作権等の確認
12月14日(月) 第三次審査(選考委員による最優秀賞の決定、会長の承認)
12月18日(金) 最優秀賞者表彰及び知事記者発表
（第三次審査にて採用とならなかつた作品についても
優秀作品として表彰）
12月下旬 第3弾ポスターの配布(開催150日前ウィークを想定)

5 ポスターの活用・展開事項

県民会議関係者、市町、県、県出先機関、希望者(企業・団体・個人)
郵便局、金融機関、商業施設、公共交通機関関係、各種イベントブース等での
掲示を想定

平成27年11月26日
事業推進課

カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開

1 目的

伊勢志摩サミットに向けて、応援事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、歓迎機運の盛り上げを図る。また、伊勢志摩サミットの開催を幅広く周知するため、シンボルマークを活用した各種PRツールを作成し、節目イベントや様々な会議等において、積極的に活用する。

2 取組内容

(1) カウントダウンボードの設置

広報全体計画に基づき、200日前ウィーク周辺で、広く県民の皆さんに伊勢志摩サミットを知っていただくため、県民会議では、各市町に卓上式のカウントダウンボードを贈呈しました。(29台)

また、

①県庁、県議会議事堂

県庁玄関、知事室受付、県議会議事堂受付、議長室受付に設置。(4台)

②県関係施設

総合庁舎(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、志摩、伊賀、尾鷲、熊野庁舎)、三重県総合博物館、図書館、美術館、斎宮歴史博物館、東京事務所、関西事務所、三重テラスに設置。(17台)

③企業等

県民会議に人材を派遣いただいた企業又は多額の寄附等をいただいた企業等には、県民会議から卓上式のカウントダウンボードを贈呈。(18台)

④県内主要駅

近鉄(四日市駅、白子駅、津駅、宇治山田駅、鳥羽駅、賢島駅、名張駅)、JR(桑名駅、津駅、松阪駅、伊勢市駅)への設置。(11台)

⑤その他企業の応援事業

県民会議の応援事業として、百五銀行が130台、マックスバリュ中部が44台、イオンが30台、中部電力が4台を県内を中心に設置いただいた。(10月27日現在 208台)

【既に設置済みのカウントダウンボード】(74台)

- ・伊勢志摩サミット三重県民会議事務局(1台)
- ・三重県警察本部(1台)
- ・志摩市役所(1台)
- ・三重銀行(70台)
- ・西日本電信電話株式会社(名古屋)(1台)

287台のカウントダウンボードが新たに200日前ウィーク周辺の日に県内を中心に設置され、既に設置済みの74台と合わせて計361台の設置となった。

平成 27 年 11 月 26 日
事業推進課

(2) 各種 P R ツールの作成

ポストカードサイズチラシ、手提袋、クリアファイル、ウェットティシュー、風船、I C カードステッカー等の汎用品ツールを作成しました。今後は子どもなどターゲットを明確にしたノベルティも作成して様々な場面に応じて配布できる各種 P R ツールを作成する。

3 今後の展開

(1) カウントダウンボードの展開

広報全体計画に基づき、県外への展開については、全国的な話題性の向上と興味喚起のため開催 150 日 ウィークに併せて設置に取り組む。

(2) 各種 P R ツールの展開

節目 ウィークイベントや関係閣僚会合、三重テラス等において、各種 P R ツールを用いて幅広く周知を行います。また、集客力及び P R 効果の高いイベントには、県民会議の出展等を通じて情報発信を行う。

プレス等を活用した情報発信の展開について

1 目的

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透をはかるとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

2 取組方針

- (1) 県・市町の関係部局とも連携を図りながら、メディアの発信先や特性に応じてテーマ設定や訪問先などのコンテンツ選定を行い、三重の誇る食、文化・伝統、自然や産業技術等を効果的に発信できるように努めます。
- (2) 県内各地域の情報が国内外に広く発信できるよう、取材エリアの選定を工夫します。
- (3) 県民会議主催の事業だけでなく、外務省等の国際機関や県の各部局、市町、各種団体等の行うメディア関連の事業に対し、コースやテーマ等の提案・調整を行い、これらの事業トータルで効果的なメディア発信を行う構成とします。
- (4) コースやテーマ設定の際には、多様な暮らしを営む県民（生産者、経営者、子ども、女性、高齢者等）が、できるだけ取材されるよう努めます。

3 事業の概要

単にプレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催することでプレス等との関係を構築し、より効果的な情報発信に努めます。

(1) プレスツアー、ファムトリップ等

各種プレスツアーやファムトリップ等については、地域性、テーマ性も考慮しつつ県民会議からコース等の積極的な提案を行います。

- ①県民会議主催プレスツアー（1泊2日）（3回程度）
- ②外務省等主催のプレスツアー（8回程度）
- ③海外メディアやエージェントのファムトリップ（複数回）など

(2) プレスツアーの参加に向けた各種行事

プレスツアーを開催するに当たり、プレス等との関係性を構築しツアーへの参加を呼び掛けるため、11月18日に外国報道機関を対象としたブリーフィングを日本外国特派員協会で開催しました。

4 県民会議主催プレスツアーの選定プロセス

次のプロセスにてプレスツアーの行程を決定していきます。

- (1) 9月に実施した市町からの聞き取りに加え、県民会議が、適宜、シート（随時、委託先と視点調整したもの、（例）視点→TPP、高齢者、子育て、環境、技術、防災、ユニークな人等）などを使って市町と情報交換したり、直接ヒアリングをしながら多くの情報を集める。
- (2) 県民会議が市町から収集した情報は委託先（フォーリンプレスセンター）に送付し、県民会議と委託先で複数のテーマを選定する。
- (3) 複数のテーマに基づき該当すると思われる取材候補のさらに詳しい情報を県民会議が市町等から収集する。

在京外国人プレスに注目されるように、関係市町と協議しながら、取材候補のより多くのアピールポイントを整理していく。

- (4) 県民会議と委託先で、取材候補を選定し、現地訪問する。
- (5) 委託先との最終調整結果を県民会議が市町と取材候補に連絡し、共有する。このときに出
来る限り理由も共有し、今後のインバウンドに生かしてもらう。

5 県民会議主催第1回プレスツアー

(1) タイトル

現代に伝える忍者の文化、特色ある農業ビジネスに挑む経営者たち

(2) 実施時期

平成27年12月7日から8日まで

(3) 取材先

「モクモク手作りファーム」、「伊賀流忍者博物館」、「木の子の里」、「うれし野アグリ」「ア
グリ一農園」

6 今後の進め方

外務省等主催のプレスツアーについては、各部局や市町、関係団体と調整し、県内の行程について県民会議から積極的に提案を行います。また、県民会議主催プレスツアーは外務省他主催のプレスツアー受入れ状況を勘案しながら、三重県全域の発信につながるように調整しながら実施します。

以 上

平成 27 年 11 月 26 日
事業推進課

最近のプレスツアーの概要について

1. ツアーの概要

外務省の招へいしたベルギー及びイスラエルの記者に三重県を取材いただきました。

1) ベルギー記者（女性写真ジャーナリスト 1 名）の訪県

日程：2015 年 10 月 30 日（金）から 31 日（土）まで

○伊勢神宮

宇治橋や五十鈴川と神宮スギなどの風景に関心があり、写真を撮影する姿が多く見られた。また、神宮や遷宮について、細部にわたる部分まで丁寧な質問を行っていた。

○おかげ横丁

赤福本店を中心に熱心な取材活動を行っていた。本人の希望で伊勢茶を購入。また、伊勢うどんを試食いただいたが、大変おいしかったとの感想であった。

○ミキモト真珠島

真珠のできる仕組みや真珠の養殖法について多くの質問があった。また、海女の潜水作業の実演に身を乗り出しながら撮影していた。

○海女小屋（はちまんかまど）

生きた伊勢エビや鮑などが並べられた風景を、海女の姿とともに興奮しながら撮影していた。また、海女達との会話や手焼きの魚介類（特に鮑）に大変満足していた。

総括：本人によれば、大変満足のいく取材が出来たとのこと。取材内容については、

まず、写真とともにブログにアップされました。今後、主にオランダ語圏の雑誌を中心に取材記事が掲載される予定です。

2) イスラエル記者（1 名）の訪県

日程：2015 年 11 月 14 日（土）から 15 日（日）まで

○答志島

海女小屋で新鮮な海産物を味わいながら、海女の生活について質問していた。漁師 2 名に最近の漁の傾向や後継者について質問していた。答志島の路地を散策しながら、独自の風習に耳を傾けたり、干物作りにチャレンジしていた。寝屋の面倒をみているお宅を訪問し、寝屋親と寝屋子に実の親や兄弟との関係について、熱心に質問していた。

○酒蔵（河武醸造）

日本酒の製造工程について、説明を受けながら見学した。大量生産と品質を求める伝統的な酒造りについて、熱心に質問していた。

○頭之宮四方神社

年に一度の大祭に出席し、神事、神楽等を熱心に撮影していた。神道が近代化に果たした役割について熱心に質問していた。

総括：本人によれば、大変満足のいく取材が出来たとのこと。取材内容については、

facebook にアップされました。今後、1ヶ月程度かけてイスラエル・ユダヤ圏の新聞・雑誌・ネットに取材記事が掲載される予定です。

平成 27 年 11 月 26 日
事業推進課

東京でのプレス等を対象とした事業展開について

10月27日（火）の外務省飯倉公館でのレセプションを皮切りに、東京での知事記者会見等を以下の通り開催しました。

1 日本記者クラブにおける知事記者会見（国内メディア向き）

1) 日 時

平成 27 年 11 月 11 日（水） 15 時 30 分から 16 時 50 分まで

2) 内 容

鈴木知事からの説明（約 40 分）

- ・伊勢志摩サミットの概要や開催県としての取組状況、伊勢神宮や海女など三重県の魅力について P.R. しました
- ・最後に知事から「今回のサミットは三重県にとって千載一遇のチャンスである。その一方、式年遷宮の経験を経て、今後は地域の総合力を上げていく必要があり、サミットをそういう契機にしたい。政府とも連携して安全に開催し、三重県でやってよかったですと言われるよう全力で取り組みたい」との発言がありました。

質疑応答（約 40 分）

参加者からは、警備面での課題、観光への影響、財政負担への対応などの質疑がありました。

3) 参加人数 約 50 名

2 日本外国特派員協会における知事ブリーフィング（海外メディア向き）

1) 日 時

平成 27 年 11 月 18 日（水） 12 時から 14 時まで

2) 内 容

(1)昼食（12時から 12時 30 分まで）

メニュー名「松阪牛のローストビーフ 県産野菜を添えて」（会費制）

(2)会見（12時 30 分から 14 時まで）

鈴木知事からの説明（約 50 分）

- ・冒頭、パリでの同時多発テロに関して哀悼の意を表する発言がありました。
- ・伊勢志摩サミットの概要説明や開催地三重県の紹介などを行いました。
- ・特に、「サミットを安全に開催することが三重県にとって最も重要な課題だ」とし、「国を含んだ官民一体のテロ対策を推進する」と述べました。

サミットを通じ三重県が発信したいメッセージは「伝統と革新の共栄する姿」だとし、伊勢神宮の精神性や県内産業の発展性などについて訴えました。

- ・最後に、三重県へのプレスツアーの紹介及び勧誘を行いました。

質疑応答（約 40 分）

参加者からは、サミットの役割や議論の中身、サミットに要する費用負担、地元住民の理解を得るために方策、伊勢神宮の宗教性と精神性などについて質疑がありました。

3) 参加人数 約 40 名（在京の外国報道関係者等）

平成27年11月26日
事業推進課

三重県情報館（仮称）について

1 目的

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の宝や誇り、三重県が持つ日本の素晴らしさを発信するための拠点として三重県情報館（仮称）を設置します。

■ねらい

国内外での知名度向上により、三重県へのインバウンド及び国内観光者の増加、県産品の輸出増加及び国内での需要拡大など三重の活性化につなげます。

2 事業の概要

基本コンセプトに基づき、日本の中の「地方」の代表として三重県の魅力を発信します。国との連携を密にし、国の広報と調和のとれた展開を目指します。

(1) 基本コンセプトの方向性

三重県情報館では、県の持つ「伝統と革新」を「和の精神」という切り口で捉え、「静と動」の織り成す多様な魅力を発信します。

(2) 展示コンテンツの見せ方、伝え方の方向性

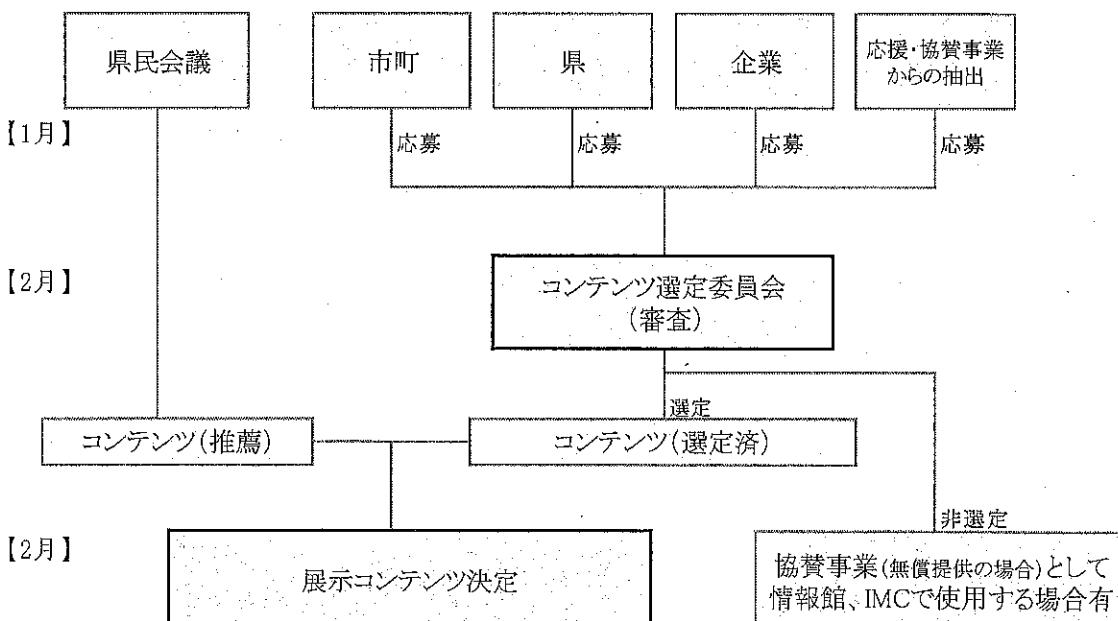
効果的な構成となるよう、「できる限り本物であること」「五感に訴求すること」「奥行きあるストーリー性を持つこと」「おもてなしや人で感動できること」等に留意して効果的な演出を行います。

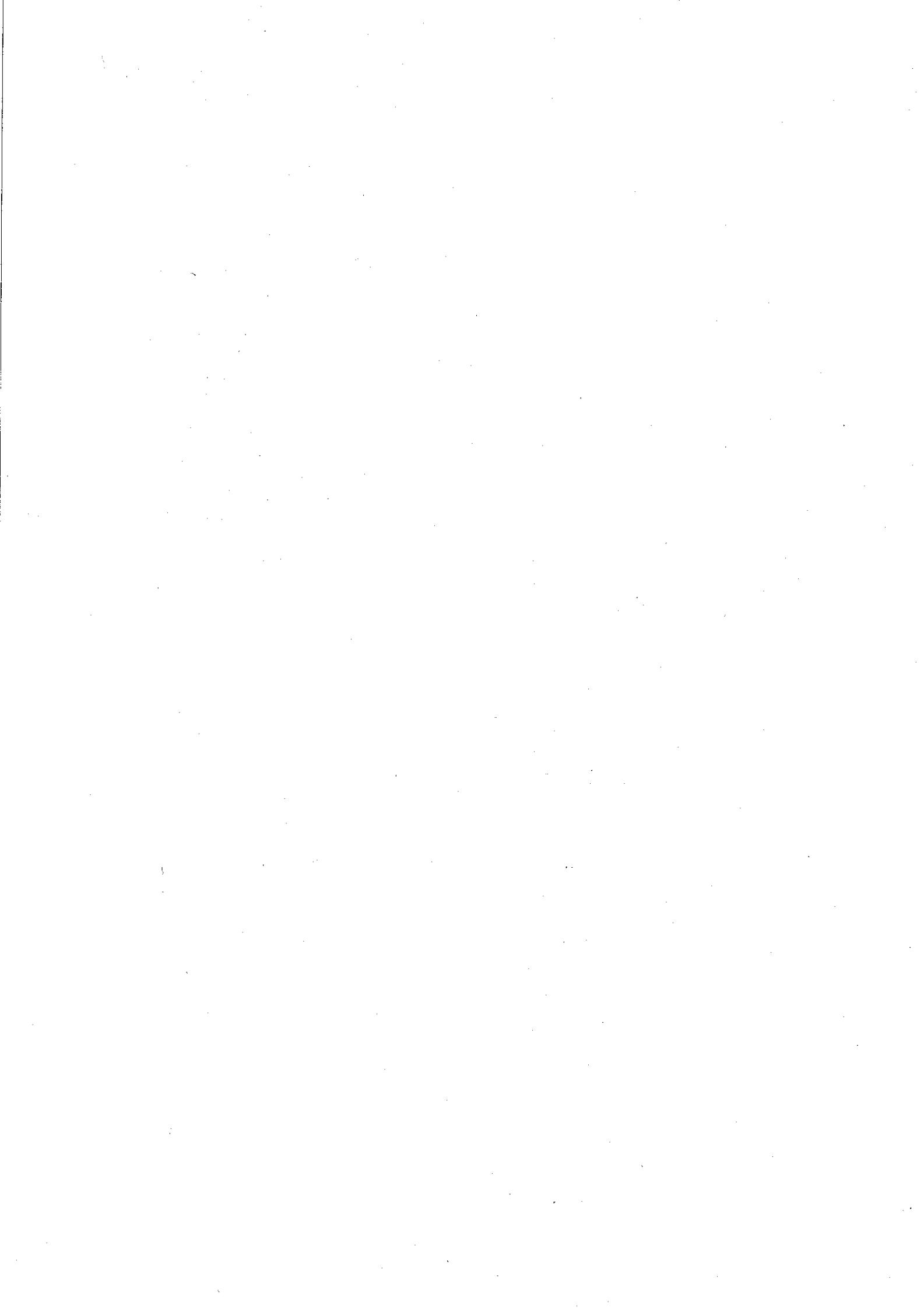
(3) 展示コンテンツの選定について

今後、各市町、県関係部局、企業等から展示コンテンツの募集等を行い、事業推進部会の下に設置するコンテンツ選定委員会等を経て、展示コンテンツを選定します。

【11月】

コンテンツの募集・選定プロセスの整理





平成27年11月26日
事業推進課

三重県情報誌及びプレス用ハンドブックの作成について

1 目的

伊勢志摩サミット開催に向けて、国内外報道関係者およびG7各国代表団等に、三重県の情報等を提供することで、三重県への理解を深めていただくとともにサミット開催に対する報道活動をサポートする地域情報も提供し、記事等を通じた内外への情報発信を促進します。

2 事業の概要

(1) プロローグ版三重県情報誌の発行

「伝統と革新」を兼ね備えた三重県が誇る歴史、文化、伝統、食、先端技術を「三重県人」にフォーカスして紹介するプロローグ版三重県情報誌「CLOSE UP MIE」を発行し、飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～」で各国大使館員、外国人報道機関関係者に既存のパンフレット等とファイルにセットして配布しました。

(2) 三重県情報誌の発行

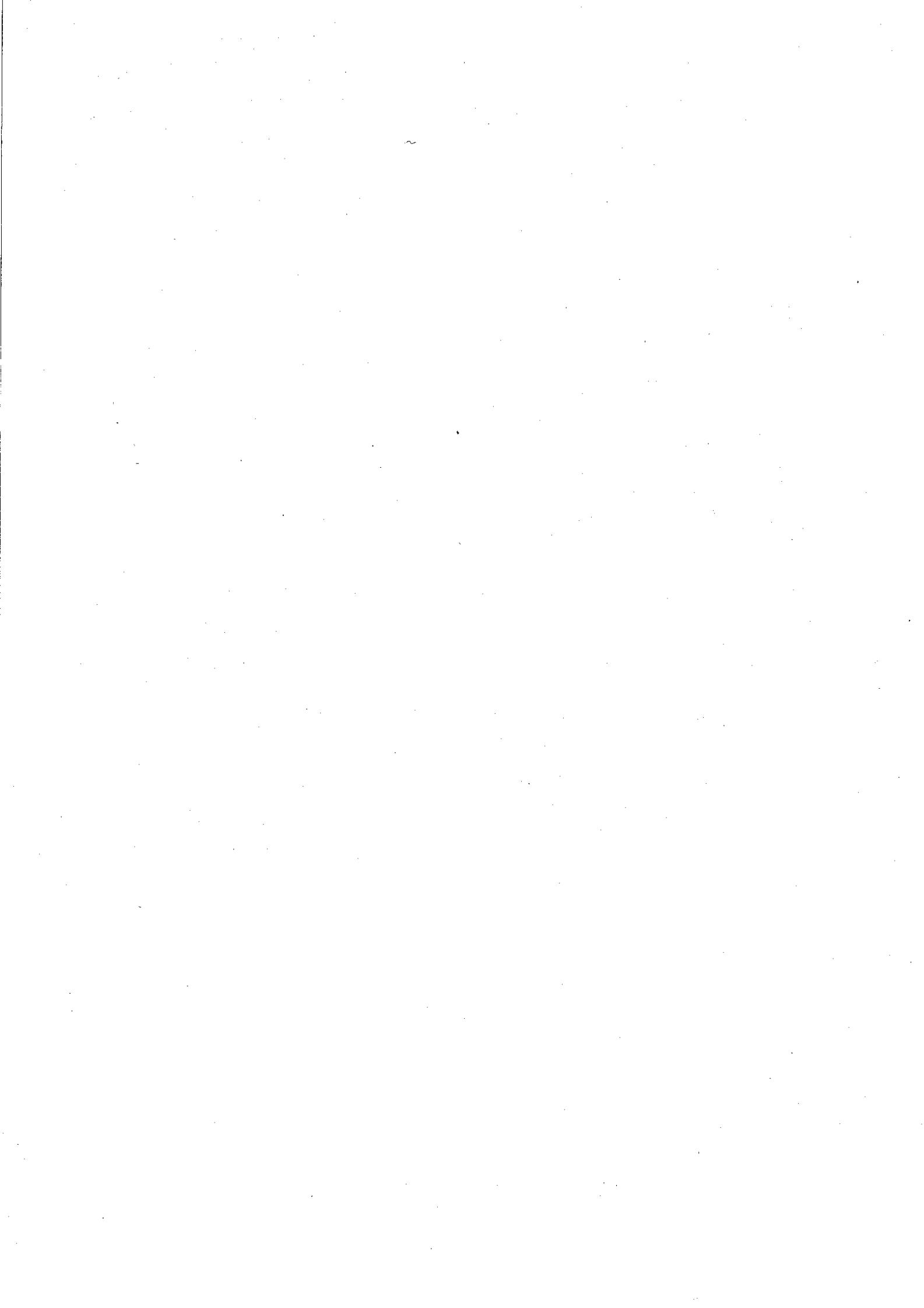
三重県を愛する方々のインタビューを通じて、「伝統と革新」を兼ね備えた三重県を感じてもらうための三重県情報誌を作成し、プレスツアーライブ等の機会を活用して国内外報道関係者等に配布することで、三重県への理解を深めていただくとともに、国内外のメディアに取材や記事化等のツールとして活用できるようにしていきます。

(3) プレス用ハンドブックの発行

県内マップ、交通案内、食事、観光、お土産情報など、サミット開催期と開催後に国内外報道関係者等の県内移動、滞在、取材活動、県内観光をスムーズに行える情報を掲載し、記者等の取材をサポートします。

3 今後の進め方について

- ・関係部局等と連携し、効果的な掲載内容の選定を行っていきます。
- ・プレスツアーライブ等で情報誌を配布できるよう準備を進めます。
- ・メディアの種類や国にあわせて、ターゲットに最も効果的なプレスキットとなるように準備していきます。
- ・伊勢志摩サミット三重県民会議のホームページに情報誌の内容を掲載することで、県外や海外に向けて発信します。
- ・プレス用ハンドブックの制作にあたっては、市町と連携してより詳細な情報を掲載していきます。



多様な主体における国際理解・国際交流事業について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供します。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとなることをめざします。

2 事業の概要

(1) 国際理解・国際交流プログラム【別添①】

県民の皆様に、サミット参加国について理解や交流を深めていただくため、園、学校、市町、企業、団体等、多様な主体が行う授業や講座等に、サミット参加国出身の在住外国人や留学生など、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣し、「国際理解・国際交流プログラム」を実施しています。

(2) 外務省事業「イチからわかる！サミット塾」の支援【別添②】

外務省において実施する「イチからわかる！サミット塾」では、外務省の若手職員が講師となり、サミットや外交についてわかりやすい授業を、小・中・高等学校で、各5校程度ずつ実施します。県民会議では、当事業の取りまとめなど支援を行います。

*実施期間 平成27年12月上旬～平成28年3月下旬

(3) パネル展示等による参加国紹介

サミット及びサミット参加国紹介、過去に開催されたサミットの年表、過去に日本で開催されたサミット当時の世相を紹介するパネルを作成しました。平成27年9月5日の第1回伊勢志摩サミットフォーラム以降、イベント等で展示しています。

(4) イベントへの出展

平成27年11月14日～15日、紀北町東長島スポーツ公園で開催された「第10回子育て応援！わくわくフェスタ」にブース出展し、伊勢志摩サミットのPRやサミット参加国の紹介を行いました。特に、子どもを対象として、子ども向けパネルの展示に加えて、サミット参加国等の国旗を利用したパズルや折鶴、手作りカウントダウンボードの作成など、楽しみながら理解を深めていただく取組を展開し、出来上がったカウントダウンボードを道の駅「紀伊長島マンボウ」に設置しました。

3 取組方針

- (1) 学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体による取組が実施されるよう働きかけを行い、一人でも多くの県民がサミット参加国や多文化に関心を持てるよう、全県的な取組とします。
- (2) 取組情報等を報道に資料提供することで、パブリシティによる情報発信を行うとともに、取組への士気を高めます。

平成27年11月26日

事業推進課

(3) 当事業を通じた取組を生かし、サミット終了後も継続する国際理解・国際交流事業の展開につなげていきます。

4 今後の進め方

学校や市町、民間企業・団体等と連携し、国際理解・国際交流プログラム及びイチからわかる！サミット塾の事業を推進するとともに、上記「2(3)」の参加国紹介のパネルを行政機関や民間企業等に貸出し展示していただくことで、全県的な国際理解・国際交流につなげ、おもてなし機運の醸成につなげていきます。



国際理解・国際交流 プログラムのご案内

平成28年5月26日(木)・27日(金)、主要国首脳会議「伊勢志摩サミット」が三重県・伊勢志摩で開催されます。

伊勢志摩サミット三重県民会議では、サミット開催を契機として、県民の皆様に、サミット参加国(※)について理解や交流を深めていただくため、「国際理解・国際交流プログラム」を実施します。

園、学校、市町、企業、団体等、多様な主体が行う授業や講座等に、サミット参加国出身の在住外国人や留学生など、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣し、プログラムを実施します。

ぜひ、ご活用ください。

なお、当プログラムは、(公財)三重県国際交流財団が、伊勢志摩サミット三重県民会議から受託して実施します。

※サミット参加国…アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、日本

プログラム

	番号	プログラム		番号	プログラム
主に 園児 対象	[1]	参加国の遊びを楽しもう	主に 中学生 対象	[10]	参加国の料理を作ってみよう
	[2]	参加国の音楽を楽しもう		[11]	参加国の生活を知ろう
	[3]	参加国の言葉でお話してみよう		[12]	参加国について調べたことを講師に発表してみよう
主に 小学校 低学年 対象	[4]	参加国の言葉でお話してみよう	主に 高校生 対象	[13]	参加国の生活を知ろう
	[5]	参加国の生活についてのクイズに挑戦		[14]	参加国の大学への留学方法、大学生活を知ろう
	[6]	参加国の音楽を楽しもう		[15]	参加国について調べたことを講師に発表してみよう
主に 小学校 高学年 対象	[7]	参加国の料理を作ってみよう	主に 一般県民 対象	[16]	親子で参加国の遊びを体験してみよう
	[8]	参加国を世界地図で探そう		[17]	参加国の家庭料理を作ってみよう
	[9]	参加国のスポーツを体験してみよう		[18]	参加国の音楽を楽しもう

*プログラム詳細については、伊勢志摩サミット三重県民会議、または(公財)三重県国際交流財団のホームページをご参照ください。

なお、プログラム内容については、可能な限りご要望にあわせてアレンジしますので、(公財)三重県国際交流財団にご相談ください。

URL 伊勢志摩サミット三重県民会議 <http://www.pref.mie.lg.jp/miesummit/>

URL (公財)三重県国際交流財団 <http://www.mlef.or.jp/>

実施方法

三重県内の園、学校、市町、企業、団体等からの依頼に基づき、
サミット参加国出身の方あるいはサミット参加国に留学又は駐在等で
滞在経験のある方を講師として派遣し、プログラムを実施します。



対象者

三重県内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、
特別支援学校、行政機関、企業、各種団体等

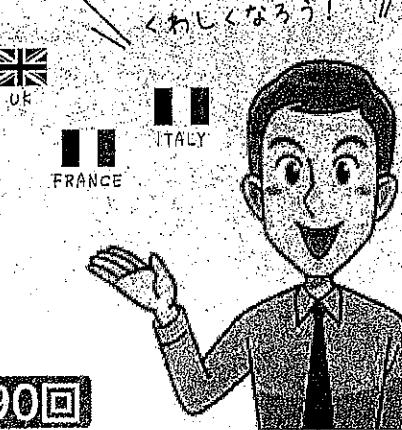
費用

無料

プログラムの実施や講師派遣にかかる費用は、
伊勢志摩サミット三重県民会議にて負担します。

実施期間 及び回数

平成27年11月16日(月)
～平成28年3月16日(水)まで 全90回



募集 期間

実施を希望する期日によって、募集期間が異なりますので、
下記のいずれかの募集期間にお申し込みください。

① 第一次募集 先着順

実施期間 平成27年11月16日(月)から12月27日(日)まで

募集期間 平成27年11月13日(金)から11月30日(日)まで

② 第二次募集 抽選あり

実施期間 平成28年 1月 4日(月)から 3月16日(水)まで

募集期間 平成27年12月 1日(火)から12月21日(日)まで

※第一次募集と第二次募集を合わせて申込が90回を超えない場合は、平成28年1月4日(月)以降、順次申込を受け付けます。
(なお、申込状況によって、第一次募集分についても一部抽選となる場合がありますので、ご了承ください。)

実施までの手順

- ① 別紙の申込書に記入の上、(公財)三重県国際交流財団(MIEF=ミエフ)宛てに、
メール、FAX、または郵送でお送りください。
- ② 第一次募集については申込書受付後、また、第二次募集については
募集期間終了後、全申込者様に、実施の可否についてご連絡を
させていただきます。
- ③ 実施決定後、ご担当者様、講師、MIEFによる打合せを順次行います。
- ④ 実施後、アンケートをご提出ください。



お問い合わせ・お申し込み先



公益財団法人 三重県国際交流財団

〒514-0009 津市羽所町700番地アスト津3階

TEL:059-223-5006 FAX:059-223-5007 E-mail:mief@mief.or.jp

伊勢志摩サミット三重県民会議

国際理解・国際交流プログラム申込書

20年月日

希望実施日	*小中高等学校への派遣は、1 時限を単位とします。続けて、同クラスあるいは他のクラスの授業での実施をご希望の場合は、2 時限となります。申請書は、1 時限ごとにご記入ください。							
	第1希望	20年月日	(曜日)	午前/午後	:	~	:	
	第2希望	20年月日	(曜日)	午前/午後	:	~	:	
	第3希望	20年月日	(曜日)	午前/午後	:	~	:	
対象者(年齢・学年)	*教育機関以外からのお申込の場合、年齢をご記入いただく必要はありません。 歳名/学年年生名							
希望する国	第1希望	<input type="checkbox"/> アメリカ	<input type="checkbox"/> イギリス	<input type="checkbox"/> フランス	<input type="checkbox"/> ドイツ	<input type="checkbox"/> イタリア	<input type="checkbox"/> カナダ	
	第2希望	<input type="checkbox"/> アメリカ	<input type="checkbox"/> イギリス	<input type="checkbox"/> フランス	<input type="checkbox"/> ドイツ	<input type="checkbox"/> イタリア	<input type="checkbox"/> カナダ	
	第3希望	<input type="checkbox"/> アメリカ	<input type="checkbox"/> イギリス	<input type="checkbox"/> フランス	<input type="checkbox"/> ドイツ	<input type="checkbox"/> イタリア	<input type="checkbox"/> カナダ	
		□上記のいずれの国でもよい						
希望するプログラム (別添のプログラム集を参考に選択してください。)	主に園児対象	<input type="checkbox"/> 【1】参加国の遊びを楽しもう <input type="checkbox"/> 【2】参加国の音楽を楽しもう <input type="checkbox"/> 【3】参加国の言葉でお話してみよう						
	主に小学校低学年対象	<input type="checkbox"/> 【4】参加国の言葉でお話してみよう <input type="checkbox"/> 【5】参加国の生活についてのクイズに挑戦 <input type="checkbox"/> 【6】参加国の音楽を楽しもう						
	主に小学校高学年対象	<input type="checkbox"/> 【7】参加国の料理を作ってみよう <input type="checkbox"/> 【8】参加国を世界地図で探そう <input type="checkbox"/> 【9】参加国のスポーツを体験してみよう						
	主に中学生対象	<input type="checkbox"/> 【10】参加国の料理を作ってみよう <input type="checkbox"/> 【11】参加国の生活を知ろう <input type="checkbox"/> 【12】参加国について調べたことを講師に発表してみよう						
	主に高校生対象	<input type="checkbox"/> 【13】参加国の生活を知ろう <input type="checkbox"/> 【14】参加国の大大学への留学方法、大学生活を知ろう <input type="checkbox"/> 【15】参加国について調べたことを講師に発表してみよう						
	主に一般県民対象	<input type="checkbox"/> 【16】親子で参加国の遊びを体験してみよう <input type="checkbox"/> 【17】参加国の家庭料理を作ってみよう <input type="checkbox"/> 【18】参加国の音楽を楽しもう						
	事業(授業)のねらい	事業名： 参加者に学んでほしいこと、講師から伝えてほしいことをご記入ください。						
	事前学習の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無						

お問い合わせ先：(公財) 三重県国際交流財団 担当：奥村、酒徳

TEL:059-223-5006 E-mail:mief@mief.or.jp



国際理解・国際交流プログラム一覧

【1】参加国の遊びを楽しもう

【2】参加国の音楽を楽しもう

【3】参加国の言葉でお話してみよう

【4】参加国の言葉でお話してみよう

【5】参加国の生活についてのクイズに挑戦

【6】参加国の音楽を楽しもう

【7】参加国の料理を作つてみよう

【8】参加国を世界地図で探そう

【9】参加国のスポーツを体験してみよう

【10】参加国の生活を知ろう

【11】参加国の生活を知ろう

【12】参加国について調べたことを講師に発表してみよう

【13】参加国の生活を知ろう

【14】参加国への留学方法、大学生生活を知ろう

【15】参加国について調べたことを講師に発表してみよう

【16】親子で参加国の遊びを体験してみよう

【17】参加国家庭料理を作つてみよう

【18】参加国の音楽を楽しもう

【19】参加国の料理を作つてみよう

【20】参加国の生活を知ろう

【21】参加国について調べたことを講師に発表してみよう

【22】参加国の音楽を楽しもう

【23】参加国の言葉でお話してみよう

【24】参加国の料理を作つてみよう

【25】参加国を世界地図で探そう

【26】参加国のスポーツを体験してみよう

【27】参加国について調べたことを講師に発表してみよう

【28】参加国の音楽を楽しもう

【29】参加国の言葉でお話してみよう

【30】参加国の料理を作つてみよう

国際理解・国際交流プログラム集

*1. それとのプログラムについて、サミット参加国（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ）のうち、希望する1か国について実施します。

*2. プログラム内容については、可能な限りご要望にあわせてアレンジします。

*3. プログラム参加者の理解をより深めため、ぜひサミットやサミット参加国に関する事前学習を行ってください。

【主に園児対象】



【1】「参加国の遊びを楽しもう」

(1) 対象人数 10名～30名程度
(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介（アイスブレーク）園児のみんなと握手！
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
10分	参加国のお話（食べ物、動物等の紹介）
20分	参加国の友だちの遊びをしてみよう！ 講師と一緒に日本伝統の遊びをやってみよう！
5分	みんなの感想を聞かせな。

【2】「参加国の音楽を楽しもう」

(1) 対象人数 10名～30名程度
(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介（アイスブレーク）園児のみんなと握手！
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
10分	参加国のお話（食べ物、動物等の紹介）
20分	参加国の音楽を楽しもう！（日本でも知られる参加国の中の歌を、参加国での言語で歌う）
5分	みんなの感想を聞かせな。

【3】「参加国の言葉でお話してみよう」

(1) 対象人数 10名～30名程度
(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介（アイスブレーク）園児のみんなと握手！
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
10分	参加国のお話（食べ物、動物等の紹介）
20分	参加国の言葉でお話しよう！（簡単な挨拶と感謝の言葉、数字1～10を覚える）
5分	みんなの感想を聞かせな。

*プログラムの前の【番号】は、プログラム集の番号に対応しています。

【主に小学校低学年対象】

【4】「参加国の言葉でお話してみよう」

(1) 対象人数 10～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介 (アイスブレーク) 児童と握手！
5分	サミットとは？(伊勢志摩サミットの説明)
10分	参加国のお話(天候、国旗、食べ物、動物、子どもとの遊びについて紹介)
15分	参加国の言葉でお話しよう！(簡単な挨拶と感謝の言葉、数字、自己紹介)
5分	質疑応答



【5】「参加国の生活についてのクイズに挑戦！」

(1) 対象人数 10～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介 (アイスブレーク) 児童と握手！
5分	サミットとは？(伊勢志摩サミットの説明)
20分	参加国に関するクイズに挑戦！(国旗、食べ物、スポーツ、音楽、日本との関係等に関するクイズを出題・解説)
10分	質疑応答

【6】「参加国の音楽を楽しもう！」

(1) 対象人数 10名～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
10分	講師の自己紹介 (アイスブレーク) 児童と握手！
5分	サミットとは？(伊勢志摩サミットの説明)
10分	参加国のお話(国旗、スポーツ、食べ物、動物等の紹介)
10分	参加国の音楽を楽しもう！(日本でも知られている参加国の歌を参考)
5分	参加国の言語で歌う
	質疑応答

【主に小学校高学年対象】

【7】「参加国の料理を作つてみよう」

(1) 対象人数 10～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介 (伊勢志摩サミットの説明)
20分	料理についての説明 参加国の料理を調理
10分	試食・質疑応答
10分	片づけ

※食材の準備と材料費の負担をお願いいたします。

【8】「参加国を世界地図で探そう」

(1) 対象人数 10～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介 (アイスブレーク) 児童とハイタッチ！
5分	サミットとは？(伊勢志摩サミットの説明)
20分	参加国を世界地図で探そう！ (参加国の地理、日本からの行き方、気候、産業等について紹介)
15分	質疑応答

【9】「参加国のスポーツを体験してみよう！」

(1) 対象人数 10～30名程度

(2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介 (アイスブレーク) 児童とハイタッチ！
5分	サミットとは？(伊勢志摩サミットの説明)
10分	参加国のスポーツを紹介 (リール等を紹介)
20分	参加国のスポーツを体験してみよう！(講師とともにスポーツを体験)
5分	児童の感想を発表

【主に中学生対象】

【10】「参加国料理を作つてみよう」

- (1) 対象人数 10～30名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
20分	料理についての説明・参加国料理を調理
15分	試食・質疑応答
10分	片づけ

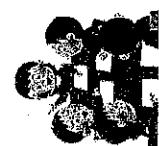
※食材の準備と材料費の負担をお願いいたします。



【11】「参加国生活を知ろう」

- (1) 対象人数 10～30名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
25分	参加国生活を知ろう！（地理、食べ物、教育制度等について説明）
20分	質疑応答



【12】「参加国について調べたことを講師に発表してみよう」

- (1) 対象人数 10～30名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
25分	参加国について生徒たちが事前に調べたテーマ（日本と参加国との中学生活の比較、参加国の産業等）について発表。
20分	発表内容について講師からのコメント・意見交換

【主に高校生対象】

【13】「参加国生活を知ろう」

- (1) 対象人数 10～30名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介・外国語であいさつ
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
30分	参加国生活を知ろう！（地理、食べ物、教育制度、歴史、産業、環境問題等について説明）
25分	質疑応答

【14】「参加国大学への留学方法、大学生活を知ろう」

- (1) 対象人数 10～60名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	外國語で講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
45分	参加国大学生活を知ろう！（大学生の生活を、ノハーポイント、写真等を使って説明）
10分	どうすれば参加国に留学できる？（必要な語学力、手続き、教育機関の種類等について説明）

【15】「参加国について調べたことを講師に発表してみよう」

- (1) 対象人数 10～30名程度
- (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
25分	参加国について生徒が事前に調べたテーマ（移民の受け入れ、少子高齢化、環境問題等）について発表。
30分	発表内容について講師からのコメント・意見交換

【主に一般県民対象】

【16】「親子で参加国のお遊びを体験してみよう」

- (1) 対象人数 10名～50名程度
 (2) プログラム

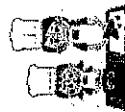
時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
20分	参加国のおはなし（食べ物、動物等の紹介）
20分	参加国の子どものある遊びをしてみよう！
10分	みんなの感想を聞かせな。

【17】「参加国のお家庭料理を作つてみよう」

- (1) 対象人数 30名程度
 (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
15分	参加国のお文化を知ろう！（パワーポイント等を利用し、講師から説明）
60分	参加国のお家庭料理を参加者と一緒に調理
25分	試食・質疑応答
15分	片づけ

※食材の準備と材料費の負担をお願いいたします。



【18】「参加国のお音楽を楽しもう」

- (1) 対象人数 10名～30名程度
 (2) プログラム

時 間	内 容
5分	講師の自己紹介
5分	サミットとは？（伊勢志摩サミットの説明）
20分	参加国のお話（国旗の由来、スポーツ、食べ物、動物等の紹介）
20分	参加国のお音楽を楽しもう！（日本で知られている参加国の歌を参加国のお言語で歌う）
10分	質疑応答

「イチからわかる！サニット塾」（小中高等学校生編）
外務省の取組み

卷之三

次世代を担う子供たちに、原則として小字界のことを教えるべきである。伊勢志摩の象も明るい。近頃は、学校の外で超えて世代を超えて、世界のことを教えることが、職員の外務省の仕事である。高木重泉の「中高生に教える外務省」の説明が、まさにそのことを示すものだ。

サミニットや外交をわかりやすく説明

- 伊勢志摩サミットに来る国は？
 - 「首脳」ってどんなん人？
 - どうしてサミットを開催するの？
 - 「あなたがオバマ大統領だったら！？」
 - ～模擬国際会議をやつてみよう！～
 - 世界の子どもたちの生活について考えよう。「学校に行けない子どもって世界にどう。」「1日120円（\$）以下で生活する人って何人にひとり？」
 - 日本は世界がよりよくなるために、何ができるんだろう？

講師 外務省若手職員 時間 1時限単位

(各校の授業時間に合わせます)
必要に応じて事前学習のための資料

●準備および経費
資料の用意及び
は外務省にて
一切不等も提供します。

平成27年11月26日
開催支援課

インフォメーション機能の整備について

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、移動・滞在・観光等のインフォメーション機能を充実させることで、世界各国からの来県者（主に報道関係者）をおもてなしの心で迎え支援を行うとともに、各地域の情報発信などを行う。

2 取組内容

（1）インフォメーションセンター設置場所と活動内容

① 主要拠点（運営主体：三重県民会議）

- ・国際メディアセンター内
- ・滞在期間中の活動支援全般と三重県の情報発信

② 県内主要ターミナル（運営主体：各所在地の市町・団体等）

- ・JR津駅、なぎさまち旅客ターミナル、JR松阪駅、JR伊勢市駅
- 近鉄宇治山田駅、近鉄鳥羽駅、近鉄鵜方駅等、メディア関係者が宿泊・取材等で利用する可能性の高い施設
- ・宿泊先・国際メディアセンター等への移動支援と現地観光案内

③ 三重県外（運営主体：伊勢志摩サミット東海会議）

- ・中部国際空港、名古屋駅等
- ・現地への移動支援と三重県及び中部地域の情報発信

（2）運営スタッフ（上記①②③は次の通り）

①県民会議スタッフ、業務委託先スタッフ、外国語案内ボランティア

②運営主体のスタッフと県民会議派遣の外国語案内ボランティア

③運営主体のスタッフと県民会議スタッフ

※センターを設置しない市町の観光案内所スタッフ等も実践研修の場として参加可能とする。

3 取組方針

（1）三重県及びサミット関連の情報発信資料は各拠点で共通に使用できるものを県民会議で用意する。各拠点ごとの独自の資料、サービス内容は各運営主体が企画・手配する。

（2）三重県内の拠点で必要となる外国語案内ボランティアは、県民会議が一括して募集し、各拠点に派遣する。

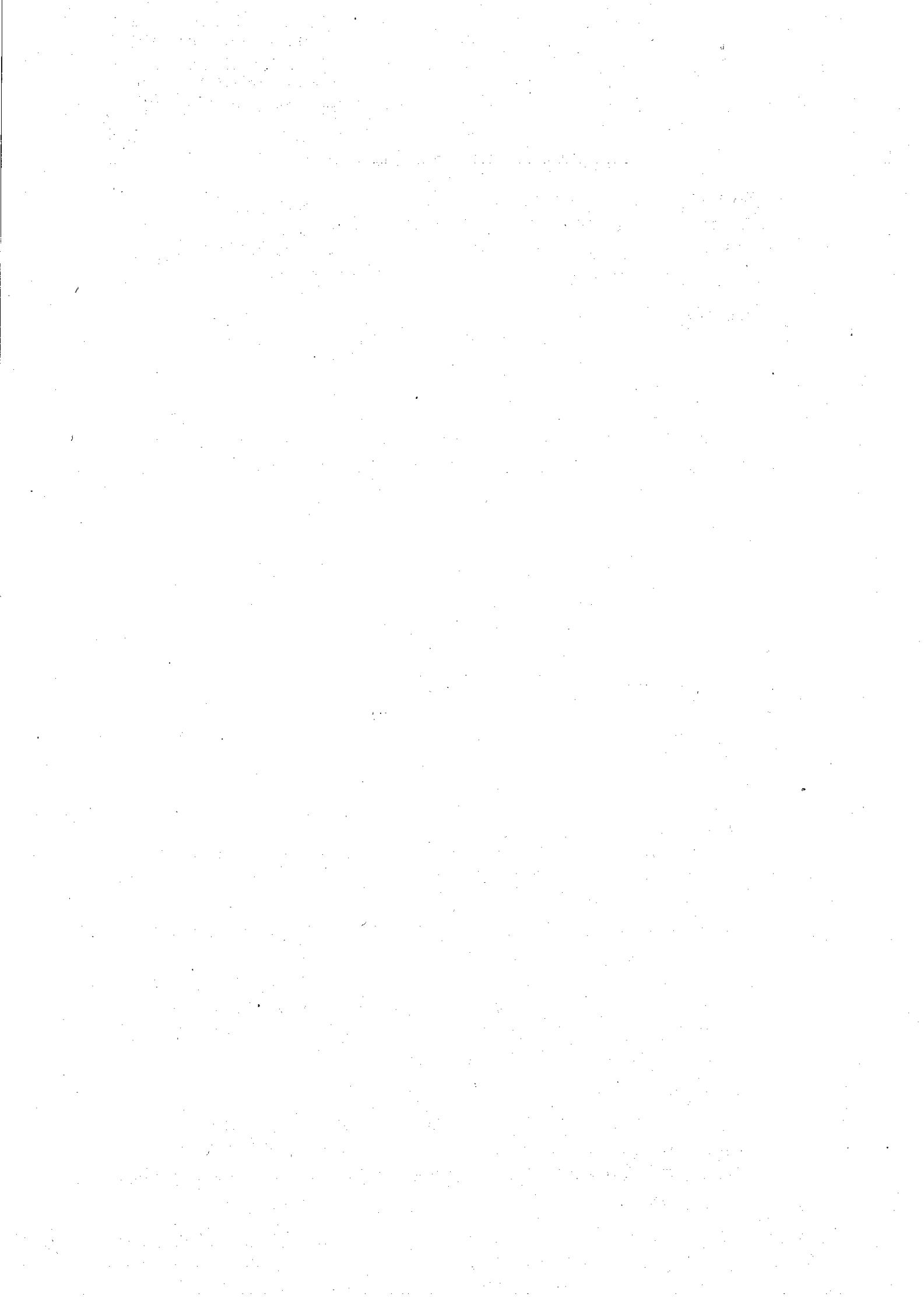
（3）インフォメーションセンタースタッフとして全拠点に共通して必要なサミット関連の知識や接遇方法等については、県民会議以外のスタッフについても合同で研修を行う。また主に外国人を対象とした接遇用ハンドブックを制作し広く活用する。

4 今後のスケジュール

平成27年 9月～12月 各運営主体との設置に係る調整

平成28年 2月～3月 ボランティアスタッフ研修

平成28年 5月20日（金）～28日（土） インフォメーション設置



平成27年11月26日
開催支援課

外国語案内ボランティアについて

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置するインフォメーションセンター等において、主に外国人報道関係者に対し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、外国語による交通や観光の案内、三重県の情報発信等の支援を行う。

2 取組内容

(1) 募集

外国語（主に英語）による案内業務が可能なボランティアを公募します。

募集期間：平成27年10月30日～12月10日

募集人数：200人程度（11月25日現在 315人応募）

募集対象：県内外の一般、大学生、外国人留学生及び高校生等
(平成28年4月1日現在で15歳以上の方)

(2) 研修

ボランティア参加者は、語学研修及び接遇研修の受講を必須とし、今後の活動を見据えたレベルアップを図ります。

(3) 活動

県内に設置されるインフォメーションセンター等において、移動・滞在・観光等の情報提供を通じて主に外国人報道関係者を支援します。

活動期間：平成27年5月20日～28日（予定）

3 取組方針

(1) 募集、研修及びコーディネート業務を企画提案コンペにより外部委託する。

【委託先】公益財団法人三重県国際交流財団

(2) 募集にあたり、県内の語学ボランティア団体等とも連携・協力を図る。

(3) ボランティア参加者が、以後、県内で開催されるMICE、外国人観光客のおもてなし及び各種ボランティアにおいて引き続き活動できる仕組みづくりに取り組む。

(4) インフォメーションセンター以外のサミット関連事業での外国語ボランティア派遣の要望についても対応することを検討する。

(5) 個人での応募以外に、企業単位での協力申請がある場合は別途対応する。

4 今後のスケジュール

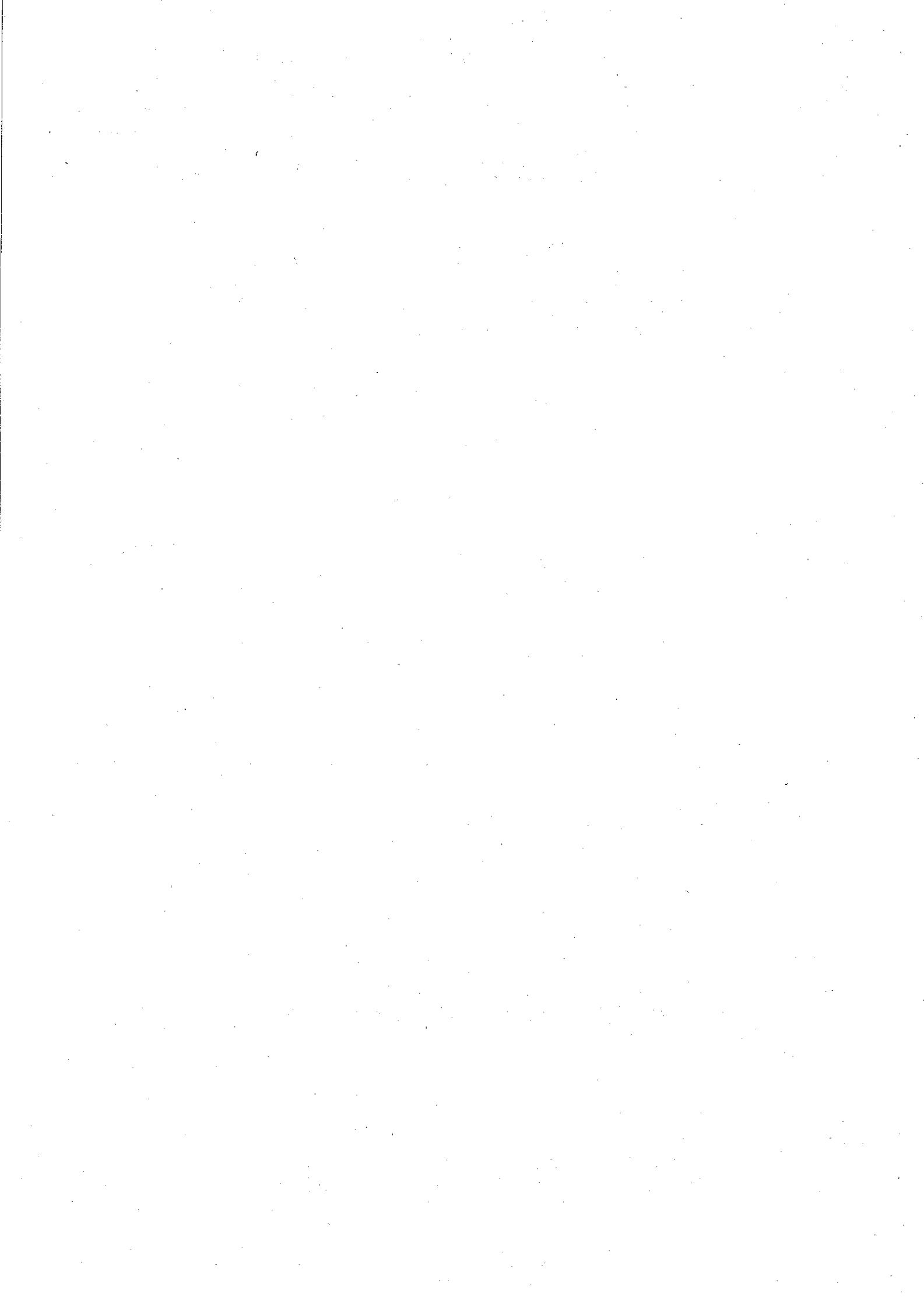
平成27年10月30日～12月10日 ボランティア募集

平成28年 2月～ 3月 ボランティア研修（語学、接遇）

4月～ 5月 ボランティア結団式

5月20日～28日 ボランティア活動

6月 ボランティア解散式



外務省飯倉公館でのセミナー及びレセプションの開催について

10月27日(火)、外務省飯倉公館で、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等を対象に、伊勢志摩サミットに向けたセミナー及びレセプションを開催しました。

1 伊勢志摩サミット開催記念セミナー「伝統と革新～日本のこころを三重から世界へ～」 (三重県主催、外務省協力)

16時30分から17時30分まで

出席者：約70人

- ・トークセッション「世界から見た三重の魅力！」

【出席者】井原慶子氏(カーレーサー／慶應義塾大学大学院特任准教授)

片山右京氏(元F1ドライバー／Team Ukyo(チーム右京)代表)

鈴木亜久里氏(元F1ドライバー／ARTA Project プロデューサー
／AUTOBACS RACING TEAM AGURI 代表・監督)

- ・講演及び対談「日本人の心のふるさと伊勢神宮」

【出席者】(講演) 神宮禰宜／神宮司廳文化部長 河合真如氏

(対談) 神宮大宮司 鷹司尚武氏

三重県知事 鈴木英敬

2 伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～(外務省及び三重県の共催)

18時から19時30分まで

出席者：約300人

- ・冒頭、主催者である岸田外務大臣及び鈴木三重県知事の挨拶に加え、安倍総理大臣からもビデオにてメッセージをいただきました。

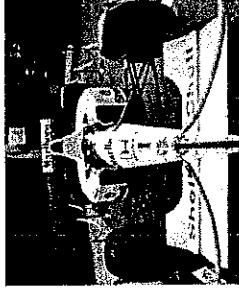
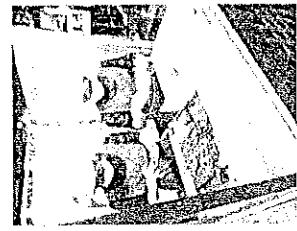
- ・今回のレセプションでは、三重の伝統と革新を体感できる特産品や先端技術等を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは和楽器によるオーケストラの演奏や伊勢音頭の披露等を行いました。また、提供する料理については、三重の食材等を可能な限り多く取り入れたメニューとなるよう、外務省が委託した事業者と調整を行いました。

伊勢志摩サミット開催プロジェクトへ三重へのいきなーいへ

10月27日(火)、外務省飯倉公館において、三重の地に静かに息づく自然や伝統と、世界をリードし未来を動かそうとする革新的技術を、【日本の原風景・心のふるさと三重】、【常に新しく、未来を生み出す三重】の2つのテーマで展開し、駐日外交団、駐日商工會議所、外國プレス等の方々に、サミット開催地三重の魅力・ポテンシャルを体感していただきました。

【日本の原風景・心のふるさと三重】

【常に新しく、未来を生み出す三重】



江戸時代から続く伊勢のおもてなし
赤福茶屋(試食・星茶)
エンターテイメント

御食つ国のおもてなし

地酒・松阪牛・伊勢えび・熊野地鶏・南紀みかん・伊賀コシヒカリ・伊勢茶 etc

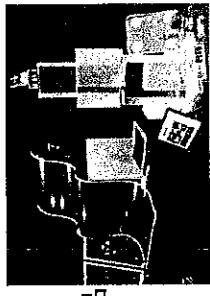
- ・真珠
- ・海女文化
- ・伊賀くみひも
- ・伊勢形紙



- 会場装飾
- 自然の恵み
- × 人の技術
- × アート

三重が世界に誇る最先端技術を展示

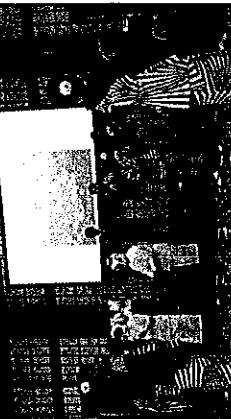
- ・小型旅客機MRJ模型
- ・NAND型フラッシュメモリ
- ・超低消費電力チップノロジー使用のLSI製品
- ・有機薄膜太陽電池



高校生レストラン

三重の食 × 三重の未来を担う高校生

ステージパフォーマンス
AUN-J(AUN J-CLASSIC ORCHESTRA)による和楽器演奏



エンディング

荷物にならない伊勢みやげ「伊勢音頭」

平成 27 年 11 月 26 日
サミット開催支援課

住民懇話会の開催について

1 開催の目的

住民懇話会は、関係 4 市町（伊勢市、鳥羽市、志摩市及び南伊勢町）において、

- ・ 伊勢志摩サミットに関する情報を発信して、開催機運の醸成と事業への協力を求める
 - ・ 住民からの要望や意見を聞き取り、今後の事業方針に活用する
 - ・ サミット開催に伴う住民生活への影響についての理解と協力を求める
- ことを目的として開催する。

2 第 1 回住民懇話会の開催日程

地区	伊勢市	鳥羽市	志摩市	南伊勢町
日付	12月10日(木)	11月28日(土)	11月28日(土)	11月20日(金)
時間	19:00～20:00	11:00～12:00	15:00～16:00	19:00～20:00
場所	ハートプラザみその 多目的ホール	鳥羽市民文化会館 大会議室	志摩市役所 4階会議室	南伊勢町役場 南勢庁舎3階大会議室
対象	伊勢市内全自治会長 (全175自治会)	鳥羽市内全自治会長 (全47自治会)	志摩市内全自治会長 (全49自治会)	南伊勢町内全区長 (全38区)

※ 開催済み

3 実施者

- (1) 三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局（主催／事務局）
- (2) 三重県警察本部警備部サミット対策課
- (3) 第四管区海上保安本部サミット等海上警備準備本部

4 内容

- (1) 伊勢志摩サミット三重県民会議が推進する事業内容の説明
- (2) 警察、海上保安本部等の警備関係機関が実施する警備活動等の説明
- (3) 質疑応答

5 今後の方針

(1) 警備関係機関との連携

開催に当たっては、日程や内容等について警備関係機関と調整しつつ、住民が真に知りたい情報の提供に努めます。

(2) 開催予定

関係 4 市町において、平成 28 年 2 月中に第 2 回、平成 28 年 4 月下旬から 5 月初旬に第 3 回を開催する予定です。

開催時は、住民やその代表者、地元企業等に広く出席を呼び掛けます。

なお、原則として関係 4 市町の住民対象での開催に限定していますが、業務運営上必要があれば警備関係機関と協議・調整した上で、他の市町での開催も検討しています。

(3) 関係業界・団体に対する実施

関係業界・団体からの要請があった場合のほか、関係業界・団体による会議等の場に足を運ぶなどして、丁寧な説明に努めます。

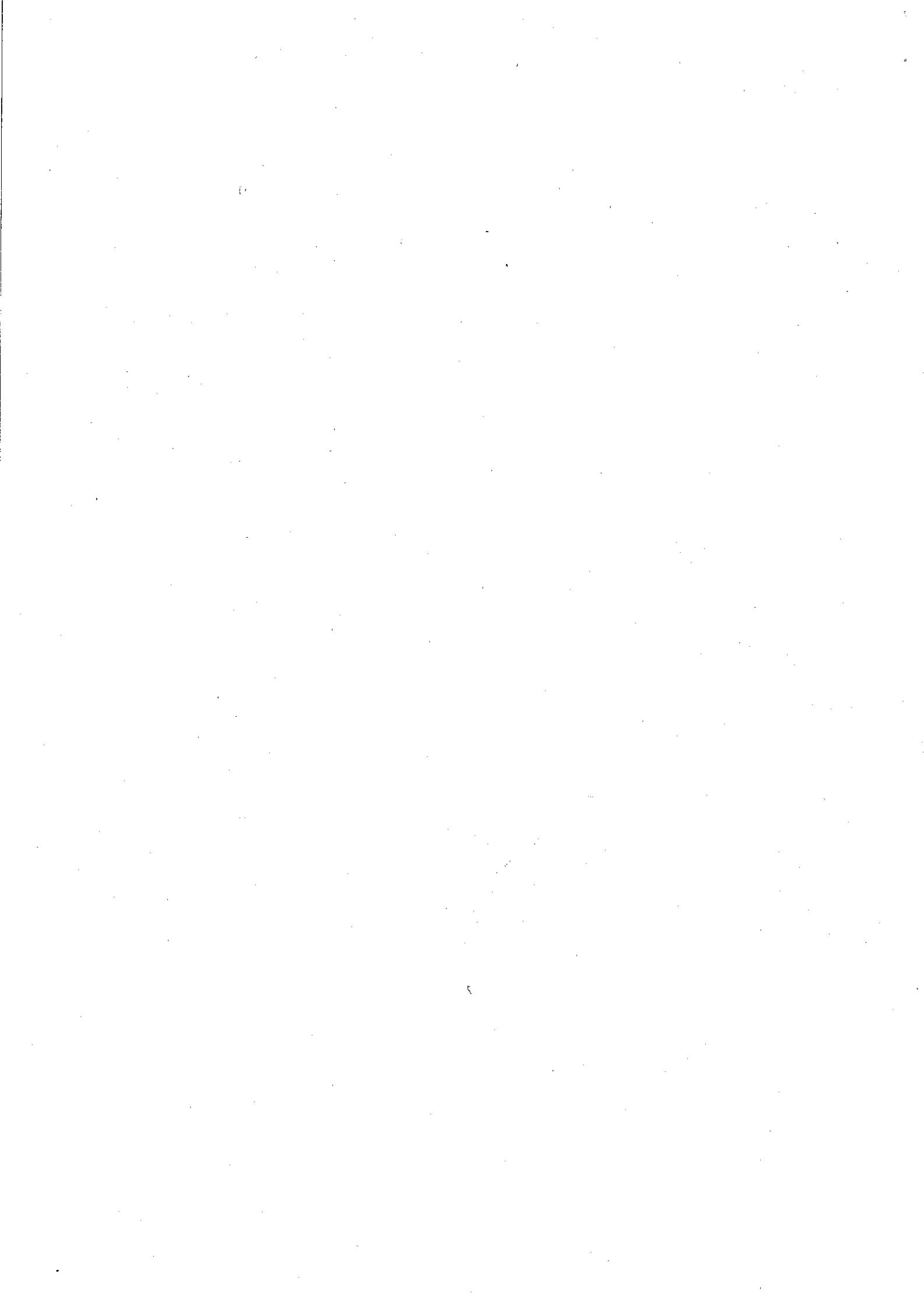
協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成27年11月26日

8月31日より開始した、協賛、応援、寄附の募集にかかる11月23日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協賛	応援	寄附	
33件 うち登録15件	234件 うち登録188件	176件 283,514,538円	
		法人	個人
		122件 266,863,000円	54件 16,651,538円

協賛、応援の事業提案内容は、別添のとおりです。



協賛、応援申込状況

H27.11.23 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

- 【備考】・登録欄の「済」は登録済のもの、「未」は審査中のものです。
- ・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。

【協賛】

申請件数	33		
うち登録件数	15		

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	H27.9.3	尾鷲名水株式会社	サミットの出席者、スタッフにミネラルウォーターを提供	済	○
3	H27.9.11	「小さな親切」運動三重県本部	ごみ袋3万枚(JT協賛)配布し小中学校、企業等とともに、県民会議と同一週に環境美化活動実施	済	○
4	H27.9.11	百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行の行員3,000名がサミット開催の直前週に環境美化活動実施	済	○
5	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)の空いている立体駐車場を無償貸与	済	○
6	H27.9.18	株式会社アクアイグニス	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ「伊勢海老バイ」を提供	済	○
7	H27.9.24	-	-	○	
8	H27.9.25	-	-	○	
9	H27.9.25	-	-	○	
10	H27.9.25	-	-	○	
11	H27.10.5	三重畜産有限会社	サミット関連事業へ牛肉、豚肉、加工品等を提供	済	○
12	H27.10.14	新日本工業株式会社	伊勢志摩サミットの情報誌、パンフレットを入れるケースを作成し提供	済	○
13	H27.10.16	東紀州ヒロメ養殖協議会	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ東紀州の特産品「ヒロメ」を提供	済	○
14	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	伊勢志摩サミット関連イベントを対象とした店頭催事スペースの無償貸与	済	○
15	H27.10.26	-	-	○	×
16	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	催事会場等へ三重県産活あさり、しじみ、はまぐりの提供	済	○
17	H27.10.30	-	-	○	
18	H27.10.30	-	-	○	
19	H27.11.2	-	-	○	
20	H27.11.2	学校法人鈴鹿医療科学大学	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場となる鈴鹿医療科学白子キャンパスを無償貸与	済	○
21	H27.11.5	-	-	○	
22	H27.11.5	-	-	○	
23	H27.11.6	株式会社赤福	レセプション開催時の「赤福茶屋」出展	済	○
24	H27.11.6	松阪牛協議会	レセプション開催時の各種商品提供	済	○
25	H27.11.6	日本トランシティ株式会社	外国語ボランティアの派遣(20~30人程度)	済	○
26	H27.11.10	-	-	○	
27	H27.11.12	-	-	○	後日公表
28	H27.11.13	-	-	○	
29	H27.11.16	-	-	○	
30	H27.11.16	-	-	○	
31	H27.11.17	-	-	○	×
32	H27.11.17	-	-	○	
33	H27.11.20	-	-	○	
34	-	-	-	○	
35	-	-	-	○	
36	-	-	-	○	
37	-	-	-	○	
38	-	-	-	○	
39	-	-	-	○	
40	-	-	-	○	

【応援】

申請件数	234		
うち登録件数	188		

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っていこうぜ運営委員会	志摩の魅力を動画番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAGループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	キリンビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	H27.9.4	-	-	○	
15	H27.9.4	-	-	済	×
16	H27.9.4	-	-	済	×

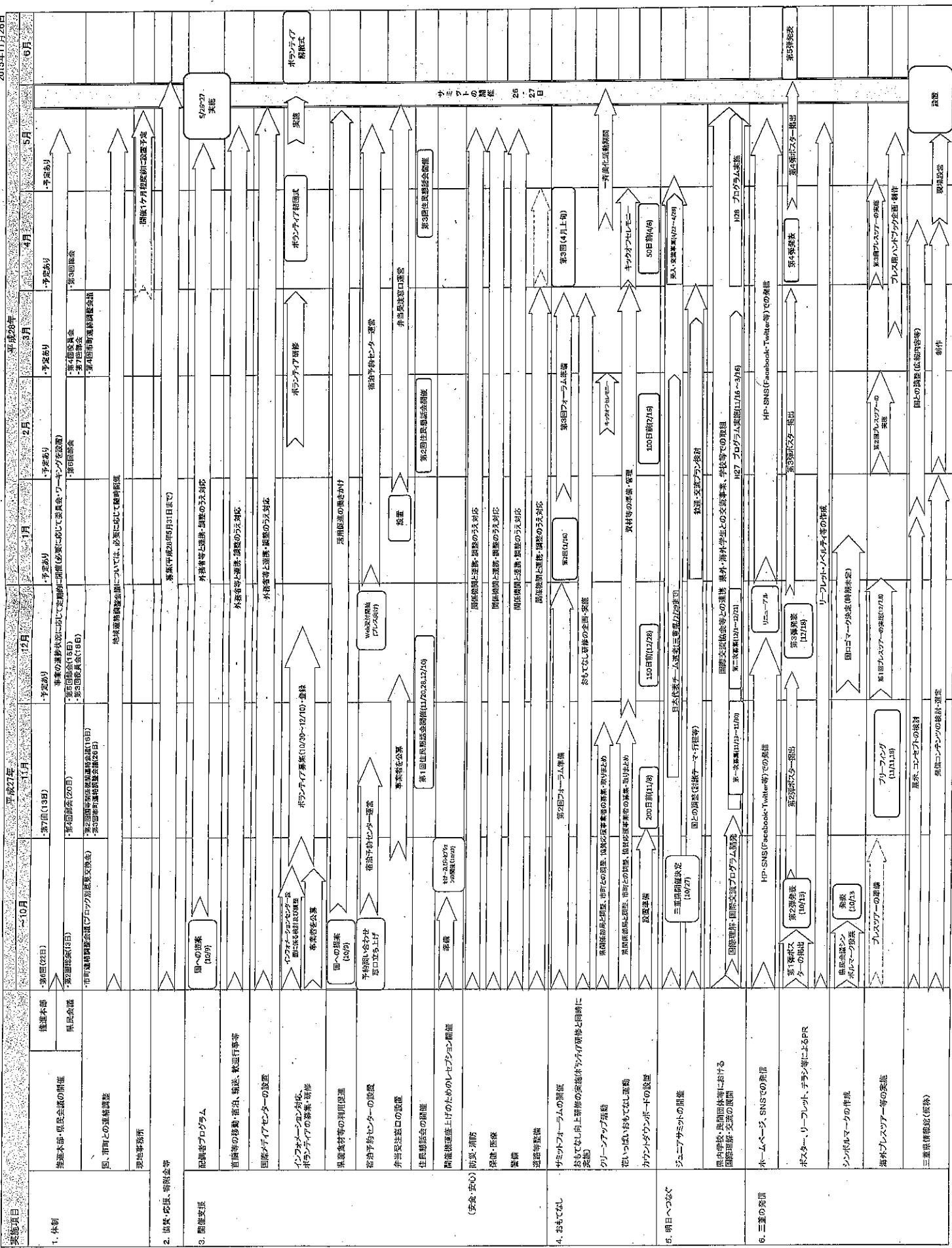
番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	H27.9.9	エールアドエイジエンシー合同会社	北勢エリアの社員募集情報誌へのポスターの無料掲載	済	○
19	H27.9.9	-	-	済	×
20	H27.9.10	-	-	済	後日公表
21	H27.9.10	-	-	済	後日公表
22	H27.9.10	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
23	H27.9.11	株式会社第三銀行	伊勢志摩サミット開催記念定期を販売し、抽選で特産品等をプレゼント	済	○
24	H27.9.14	-	-	済	後日公表
25	H27.9.15	株式会社百五銀行	主要14ヶ店のロビーにWi-Fiを整備する	済	○
26	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)壁面にサミットポスター掲出	済	○
27	H27.9.17	三重交通グループホールディングス株式会社	サミットデザインの缶バッヂを作成し、グループ11社の社員が着用	済	○
28	H27.9.17	株式会社百五銀行	クレジットカードを一定額以上利用した方から抽選で伊勢志摩地域のレストラン食事券プレゼント	済	○
29	H27.9.18	-	-	済	×
30	H27.9.18	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 三重県支部	サミット開催記念のCall Signを取得後、国内海外のアマチュア無線局と交信し三重県をPR	済	○
31	H27.9.18	伊藤印刷株式会社	伊勢志摩サミット開催記念応援グッズ(缶バッジ・三重県彩・シール)を販売し、売上の一部を寄附	済	○
32	H27.9.24	特定非営利活動法人ほがらか絵本畠	伊勢志摩サミットを機会に海外を身近に感じるため、絵本を使った勉強会やセミナーを実施	済	○
33	H27.9.24	日本ボイスカウト 伊賀第1団 カブ隊	伊勢志摩サミットに関する子ども向け学習会実施(テーマ:世界の国ぐに)	済	○
34	H27.9.25	まちづくり団体 楽笑(Raku-Sho)	志摩発の女性会議:伊勢志摩女子サミットG7(ガールズセブン)を開催	済	○
35	H27.9.25	株式会社百五ティーシーカード	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約8,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
36	H27.9.28	株式会社第三銀行	本支店(特に県外店舗)ロビーに「伊勢志摩サミット2016」のポスターを掲示	済	○
37	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「世界のリーダーたちが三重に!7/5放送(インターネットでの公開9/16~)	済	○
38	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	特別番組「県民みんなで盛り上げよう伊勢志摩サミット」9/21放送(インターネットでの公開10月予定)	済	○
39	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミット特設ウェブサイトの開設	済	○
40	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	伊勢志摩サミットの話題を重点的に紹介する「伊勢志摩サミット応援ウイーク」の実施	済	○
41	H27.9.29	三重テレビ放送株式会社	三重テレビのスタジオに卓上サミット告知プレートを設置	済	○
42	H27.9.29	神風講社雅楽部	伊勢志摩サミット開催を雅楽演奏会のポスターに掲載し、会場内に横断幕を掲揚する。	済	○
43	H27.9.29	NTN株式会社	近鉄線路沿いの建屋壁面に横断幕2枚(伊勢志摩サミット、ジュニアサミット各1枚)を設置	済	○
44	H27.9.29	株式会社青葉	天然ミネラルウォーターのペットボトルに「伊勢志摩サミット」応援文字を貼付。売上の一部を寄附。	済	○
45	H27.9.29	近鉄グループホールディングス株式会社	近鉄各駅、近鉄GHD各社等で、ポスター(県民会議製作分および自主製作分)掲出など	済	○
46	H27.9.30	株式会社百五銀行	会員向け「ご利用代金明細書」(毎月約15,000通)へ寄付金募集の案内を掲載	済	○
47	H27.9.30	三重畜産有限会社	サミット応援商品の開発、販売で三重県産牛・豚の魅力をPR	済	○
48	H27.9.30	鳥羽志摩農業協同組合	鳥羽志摩地域の農産物を使用した「G7ランチプレート」の販売	済	○
49	H27.10.1	株式会社第三銀行	ホームページでサミット開催までの日数をカウントダウン	済	○
50	H27.10.1	伊勢鉄道株式会社	全車両のドア内側上部に三重県地域連携部が作成したサミット開催ステッカーを掲示	済	○
51	H27.10.2	伊勢志摩サミット応援ツール制作センター	ビジュアルの統一された応援ツールを作成し、地域を伊勢志摩サミット一色に彩るプロモーション事業を行う。	済	○
52	H27.10.2	株式会社コイサンズ	三重の食材を利用したパンを毎月3種類販売(7か月)、28年5月には全21種類一齊販売	済	○
53	H27.10.5	株式会社TA西村	瞬間冷凍した三重県の特産物に「祝 伊勢志摩サミット開催」などのシールやステッカーを貼る	済	○
54	H27.10.5	伊勢志摩真珠館	「伊勢志摩サミット お祭り広場」として伝統工芸・文化、伊勢志摩特産品等の販売	済	○
55	H27.10.5	株式会社ダイレクトカーズ	尾崎ヒキ家具と伊勢特有紙を使用したオリジナルカーペットを「伊勢志摩サミット開催記念車」としてイベント等で展示	済	○
56	H27.10.5	東邦ガス株式会社 三重支社	①折り込みチラシ・手配りチラシに伊勢志摩サミットをPR②ガス展示場へのポスター掲示	済	○
57	H27.10.6	石田鉄工株式会社	①アコヤ真珠貝殻入り景観グレーティングを開発②グレーティングカタログにサミットポスターを掲載	済	○
58	H27.10.7	石田鉄工株式会社	①展示会(東京ビックサイトなど)自社ブース内にポスター掲示②社内にポスター掲示	済	○
59	H27.10.7	鳥羽シーサイドホテル株式会社	フロントロビー やホームページでのサミットPR実施や、館内全室WIFI設置など	済	○
60	H27.10.7	鳥羽観光会館ビル株式会社	①鳥羽1番街建物へ「サミット歓迎!懸垂幕②1階コンシェルジュでサミット案内業務実施	済	○
61	H27.10.7	皇學館大学	NIPPONの原点を学ぶ三重の魅力発信セミナー「うまし国 伊勢志摩の神話と日本文化」実施	済	○
62	H27.10.8	鳴海製陶株式会社/三重ナリ株式会社	「伊勢志摩サミット招致決定記念」として伊勢志摩発のメモリアルギフト等の新製品を開発	済	○
63	H27.10.8	株式会社柿安本店	グループ約300店舗で「サミット開催記念 美しき三重県フェア」として業態に合わせたオリジナルメニュー開発	済	○
64	H27.10.9	日本通運株式会社 三重支店 伊勢営業所	各拠点へのポスター掲示および従業員の名刺へのロゴ記載によるサミット開催PR	済	○
65	H27.10.9	一般社団法人三重県建設業協会	伊勢志摩サミット応援ポスターを作成し、会員企業の事務所や工事現場に掲示	済	○
66	H27.10.13	一般社団法人三重県産業廃棄物協会	伊勢志摩地域の産業廃棄物不法処理防止パトロール及び不法投棄撤去作業	済	○
67	H27.10.13	北伊勢上野信用金庫	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
68	H27.10.13	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援メッセージを記載した県内茶試供品の配布	済	○
69	H27.10.13	いせ毎日会/毎日新聞伊勢支局	「伊勢まつり」にブース出展を行い、伊勢志摩サミットをPR	済	○
70	H27.10.14	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	関西地区の直営店30店舗、提携店約50店舗に伊勢志摩サミットポスターを掲示	済	○
71	H27.10.14	三重テレビ放送株式会社	津まつりの三重テレビブースで「伊勢志摩サミットにちなんだぬり絵」の実施	済	○
72	H27.10.14	株式会社NTTドコモCS東海 三重支店	県内ドコモショップ39店舗での伊勢志摩サミットポスターの掲出	済	○
73	H27.10.15	まちなか文化祭実行委員会	「まちなか文化祭」当日に配布するチラシ等でサミット開催をPR	済	○
74	H27.10.15	三重県市町村職員共済組合	三重市町村会館および「サンベルラ志摩」でポスターの掲示・リーフレット据え置き	済	○
75	H27.10.15	三岐鉄道株式会社	駅および車内への伊勢志摩サミットポスターおよび三重県地域連携部作成ステッカーの掲出	済	○
76	H27.10.16	株式会社上田新工業	会社入口に伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
77	H27.10.16	株式会社上田新工業	ホームページに「伊勢志摩サミット開催を応援しています」文言、シンボルマークを掲載	済	○
78	H27.10.16	三重執鬼株式会社	地元中学校での出前講座で使用するパワーポイントにシンボルマーク掲載	済	○
79	H27.10.16	三昌物産株式会社	自社カタログ等にサミットポスター掲載、商品にも統一シンボルマークを貼付	済	○
80	H27.10.19	-	-	済	×
81	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	購読者部数約10万部の伊勢新聞でカウントダウン広告掲載	済	○
82	H27.10.19	株式会社伊勢新聞社	伊勢志摩サミット開催200日前にあたる11月8日に別刷で伊勢志摩サミット特集を実施	済	○
83	H27.10.19	株式会社ピーズフレアコーポレーション	販売物(餃子、餃子のたれ、みそだれなど)にシンボルマークを貼付	済	○
84	H27.10.19	はあと福祉タクシー	チラシ、ホームページに「伊勢志摩サミットを応援しています」の文言、売上の一部を寄附	済	○
85	H27.10.19	-	-	済	×
86	H27.10.19	株式会社ミエライス	米袋にシンボルマークを掲載	済	○
87	H27.10.19	三交興業株式会社	名阪関ドライブイン、名阪上野ドライブインの入口看板にシンボルマークを掲載	済	○
88	H27.10.20	津市ボランティア協議会	つ・環境フェスタで缶バッジつくりコーナーを出展し、そこでシンボルマークの練習画を用意	済	○
89	H27.10.20	糸川屋製菓株式会社	商品にシンボルマークを掲載	済	○
90	H27.10.20	東邦ガス株式会社 三重支社	名刺にシンボルマーク掲載	済	○
91	H27.10.20	イオンリテール株式会社	三重県内のイオン19店舗で三重県産品の販売や観光情報発信などのイベント実施	済	○

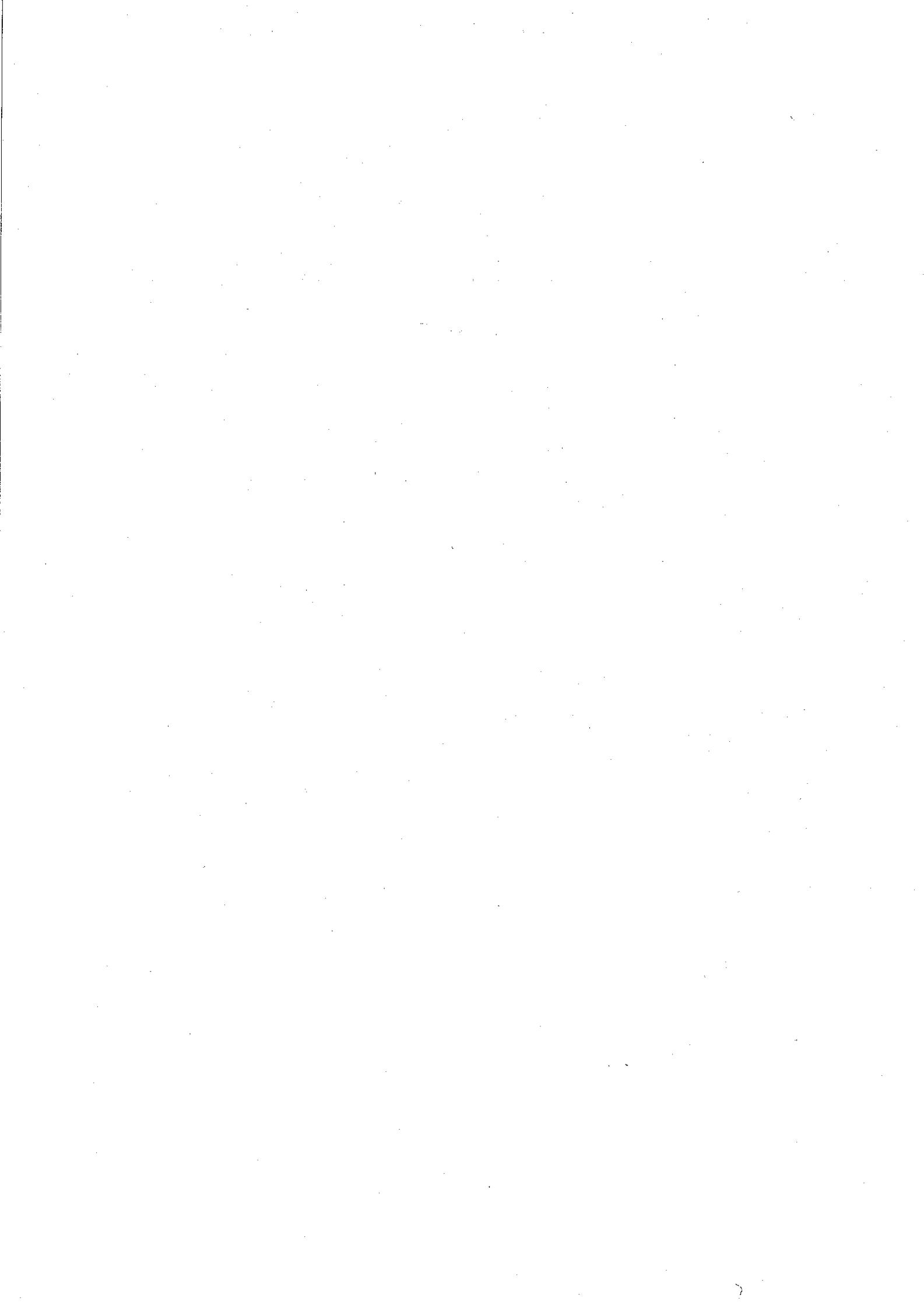
番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
92	H27.10.20	三重県信用金庫協会	「三重県しんきんレポート」へ応援メッセージの掲載	済	○
93	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	三重県内全店舗へのカウントダウンボード設置	済	○
94	H27.10.21	JAグループ三重	三重県内厚生連病院院内モニターにて「伊勢志摩サミットを応援しています」旨のPR	済	○
95	H27.10.21	有限会社居酒屋ふぐや	サミット応援商品(食事メニュー)を開発し、売上の一部を寄附	済	○
96	H27.10.21	ヒストリックカーミーティング実行委員会	伊勢志摩サミットのイベントとして「CLASSIC CAR SUMMIT」を開催しサミットをPR	済	○
97	H27.10.21	三重県漁業協同組合連合会	①魚等の出荷に使用する箱にサミットをPRするシールを貼付 ②事務所にポスターを掲示	済	○
98	H27.10.22	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	全都道府県の国内拠点1,204か所で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
99	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえのうまいもん物産展におけるポスター展示等	済	○
100	H27.10.22	三重県商工会連合会	みえまるごと物産展におけるポスター展示及びPRブースの設置	済	○
101	H27.10.22	三重県商工会連合会	三重県商工会大会における大会誌への伊勢志摩サミットPR及びパンフレット配布	済	○
102	H27.10.22	三重県商工会連合会	商工会全国大会におけるPR資料の配布及びPRブースの設置	済	○
103	H27.10.22	三重県商工会連合会	全国物産展におけるPRブースの設置	済	○
104	H27.10.22	ハチ代エンジニアリング株式会社 名古屋支店	本社を含む全支店に伊勢志摩サミットポスターならびに応援メッセージを掲載	済	○
105	H27.10.23	臼井織布株式会社	①応援商品の開発、シンボルマークを使用したシールを商品へ貼付②ポスターの掲出	済	○
106	H27.10.23	三重県馬事畜産振興協議会	「三重の馬い畜産物大抽選会」の告知に併せサミット応援メッセージを記載およびHPでの告知実施	済	○
107	H27.10.23	日本パートナー協会三重県本部三重支部	三重支部の会員店舗40店舗でサミットポスター掲出	済	○
108	H27.10.23	-	-	済	×
109	H27.10.23	伊勢形紙協同組合	「匠の里・伊勢形紙フェスタ」会場におけるサミットポスターの掲示	済	○
110	H27.10.23	有限会社ウラケイパール	商品や看板へシンボルマークを表示	済	○
111	H27.10.23	株式会社百五銀行	全店舗のロビー(一部店舗を除く)にカウントダウンボードを設置	済	○
112	H27.10.23	株式会社百五銀行	役職員の名刺にシンボルマークを表示	済	○
113	H27.10.26	中部電力株式会社 三重支店	独自でカウントダウンボードを作成し、自社施設へ設置	済	○
114	H27.10.26	志摩市観光協会	「御食つ国・志摩 年末海族市」にて伊勢えびなど県産食材の発信と伊勢志摩サミットをPR	済	○
115	H27.10.26	志摩市観光協会	「海女小屋体験施設 さとうみ庵」通常料金3,500円を3,310円(サミット)で提供	済	○
116	H27.10.26	志摩市観光協会	志摩市観光協会会員(会員数452)へ向けてポスター掲示依頼	済	○
117	H27.10.26	志摩市観光協会	①ホームページへサミット開催に伴う情報掲出②会員が開発したサミット関連商品情報を掲載	済	○
118	H27.10.26	志摩市観光協会	「伊勢志摩ふるさと交流会」内のポスター配布	済	○
119	H27.10.26	志摩市観光協会	「わらじ祭り」でサミット開催記念のぼり旗を設置しサミットをPR	済	○
120	H27.10.26	NTT西日本三重支店	名刺・封筒・クリアファイルにシンボルマーク(シール)を貼付して開催をPR	済	○
121	H27.10.27	三重エフエム放送株式会社	「広瀬隆のラジオ魂! 伊勢志摩サミット200日前スペシャル」で、取組、県民の声、経済効果などを放送	済	○
122	H27.10.27	-	-	済	後日公表
123	H27.10.27	NTT西日本三重支店	「Free-WiFi-MIE」のアクセスポイントの充実および無料利用時間の拡大	済	○
124	H27.10.27	マックスバリュ中部株式会社	サミット応援商品にシンボルマークを貼付	済	○
125	H27.10.27	中日新聞社広告局	サミット開催100日前特集記事および対談紙面を掲載	済	○
126	H27.10.27	伊勢志摩俳句サミット協議会	伊勢志摩サミットを応援する俳句大会を開催	済	○
127	H27.10.27	全国尾鷲節コンクール実行委員会	「全国尾鷲節コンクール」の開催ポスター、パンフレットでサミットをPR	済	○
128	H27.10.28	第三カードサービス株式会社	「ご利用明細書」(毎月約7,000~8,000通)およびホームページへ寄付金募集の案内を掲載	済	○
129	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	本社へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
130	H27.10.28	津市指定無形文化財 白塚獅子舞保存会	保存会事務所へのポスター掲示、関係者へのポスター配布	済	○
131	H27.10.28	有限会社 龍宮	シンボルマークを利用したポスター、POP、商品タグ等を制作しPR	済	○
132	H27.10.28	三重トヨペット株式会社	試乗車・社用車に応援メッセージ入りステッカーを掲示など9企画実施	済	○
133	H27.10.28	協同組合オールニッポンギフト	ギフトカタログの表紙にシンボルマークを掲載	済	○
134	H27.10.28	三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」	「男女共同参画フォーラム」にてポスター掲示およびパンフレットへのシンボルマーク表示	済	○
135	H27.10.28	-	-	済	後日公表
136	H27.10.29	株式会社ホクキャスト	シンボルマークをデザインしたグレーチングを開発	済	○
137	H27.10.29	北伊勢上野信用金庫	インターネットキャンペーンのチラシに「協賛、応援、寄附」募集の案内を掲載	済	○
138	H27.10.29	ボートレース津	伊勢志摩サミット開催記念「全国ご当地大集合サミット」を開催	済	○
139	H27.10.29	株式会社三重銀カード	「ご利用明細」およびホームページへ寄附についての告知表記を掲載	済	○
140	H27.10.30	-	-	済	後日公表
141	H27.10.30	三重県産業廃棄物対策推進協議会	三重県鳥羽市答志島奈佐の浜での伊勢湾漂着ゴミ海岸清掃活動	済	○
142	H27.10.30	NPO法人三重補助犬普及協会	「つ・環境フェスタ」「いせトピア」でポスター・シンボルマーク等でPR	済	○
143	H27.10.30	イオンモール東員	シンボルマークを使用したサミット応援ワッペンを作成	済	○
144	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR・クーポン袋(10万部作成)を活用した伊勢志摩サミット三重県開催告知	済	○
145	H27.11.2	近畿日本ツーリスト株式会社 津支店	JR時刻表(3,500部)への伊勢志摩サミット三重県開催広告掲載	済	○
146	H27.11.2	-	-	済	×
147	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミスユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミットカウントダウンブログ」	済	○
148	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	自社館内に「伊勢志摩サミット応援」のぼり旗設置	済	○
149	H27.11.2	社会福祉法人洗心福祉会	法人が運営する県内約100事業所に「伊勢志摩サミット2016」ポスターを掲示	済	○
150	H27.11.2	赤堀グループ(株式会社赤堀植物園、株式会社赤堀、株式会社エフエフ・ジャパン)	店頭に横断幕やのぼり旗を設置するとともに情報誌などへ掲載	済	○
151	H27.11.2	南長野12志会	「伊勢志摩サミット 日本のおもてなし」をテーマにした南長野イルミネーション2015	済	○
152	H27.11.2	-	-	済	後日公表
153	H27.11.2	中島製茶株式会社	自社製品にシンボルマークラベルを貼付販売	済	○
154	H27.11.4	有限会社アンドウセイ	名刺にシンボルマークシールを入れる	済	○
155	H27.11.4	株式会社第三銀行	役職員の名刺にシンボルマークシールを貼付	済	○
156	H27.11.4	株式会社総本家貝新新七商店	商品にシンボルマークを貼り、サミットを応援	済	○
157	H27.11.4	NEMU HOTEL&RESORT	TV放映CM内で「2016年5月伊勢志摩サミットの応援事業」のテロップを表示	済	○
158	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「伊勢志摩サミット」応援ファンドの取扱	済	○
159	H27.11.4	株式会社三重銀行	伊勢志摩サミット応援融資「事業者向けローン・クイック・金利優遇キャンペーン	済	○
160	H27.11.4	株式会社三重銀行	デジタルサイネージを活用した、サミット開催までのカウントダウン表示	済	○
161	H27.11.4	株式会社三重銀総研	リージョネット三重「伊勢志摩サミット応援キャンペーン」の実施	済	○
162	H27.11.4	-	-	済	○
163	H27.11.4	-	-	済	○
164	H27.11.5	細川酒造株式会社	「三重路上馬ビール」等の商品にシンボルマークを貼り、開催を広く周知	済	○
165	H27.11.5	ゆくりかレコード	楽曲「海と真珠と神様と」(メルヘン堂)の伊勢志摩サミットタイアップ曲	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
166	H27.11.5	-	-	済	後日公表
167	H27.11.5	-	-	済	後日公表
168	H27.11.5	株式会社第三銀行	41営業店にカウントダウンボード表示(営業店内デジタルサイネージ表示)	済	○
169	H27.11.6	HEAL IN 四日市	自社ホームページに伊勢志摩サミットホームページのリンクを貼付	済	○
170	H27.11.6	紀北町観光協会	紀伊長島マンボウ内 紀北町観光サービスセンター壁面にカウントダウンボード設置	済	○
171	H27.11.6	-	-	-	○
172	H27.11.6	洋菓子ナポレオン	①自社商品にシンボルマークシールを貼付②店頭にサミットポスター掲示	済	○
173	H27.11.6	JAグループ三重	伊勢志摩サミット応援シールを役職員の名刺の貼付	済	○
174	H27.11.6	JAグループ三重	HPへのカウントダウン表示と伊勢志摩サミットHPへのリンクを貼付	済	○
175	H27.11.6	JAグループ三重	第42回JA三重大会記念品への伊勢志摩サミット応援メッセージの記載	済	○
176	H27.11.9	桑名信用金庫	冬のボーナス「ウィンターキャンペーン」への応援メッセージの掲載	済	○
177	H27.11.9	桑名信用金庫	小学生以下を対象とした「子供用通帳」開設キャンペーンチラシに応援メッセージを掲載	済	○
178	H27.11.9	三重県鶏卵販売農業協同組合	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
179	H27.11.9	一般社団法人三重県配合飼料價格安定基金協会	伊勢志摩サミットポスターを道路側窓に掲示	済	○
180	H27.11.9	-	-	-	○
181	H27.11.9	NPO法人天満浦百人会	天満莊において①サミット開催をPRする行燈を設置②サミットポスターを掲示	済	○
182	H27.11.9	みえリーディング産業展2015実行委員会	「みえリーディング産業展2015」にて「伊勢志摩サミット開催記念クイズ大会」を開催	済	○
183	H27.11.9	株式会社三重県松阪食肉公社	伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
184	H27.11.9	三重県賃貸住宅経営者協会	「賃貸経営セミナー」での伊勢志摩サミットPR(講演会開催)	済	○
185	H27.11.10	丸之内商店街振興組合	2015年歳末大売り出しで各加盟店がサミット応援セールを実施	済	○
186	H27.11.10	三重交通グループホールディングス株式会社	ホームページへ①応援メッセージ②カウントダウン③シンボルマークを表示	済	○
187	H27.11.10	三重県社会就労センター協議会・社会福祉法人三重県社会福祉協議会	平成27年度東海北陸社会就労センター研究協議会三重大会の冊子にシンボルマークを掲載	済	○
188	H27.11.10	-	-	済	×
189	H27.11.10	株式会社サン・シャイン	カウントダウンボード、のぼり、ジャンバー(すべて新日本工業製作)を使用しサミットをPR	済	○
190	H27.11.10	-	-	-	×
191	H27.11.10	株式会社第三銀行	お客様配布用のカレンダーにサミット開催日までのカウントダウン表示	済	○
192	H27.11.10	三重県信用保証協会	①本支店の各フロアにポスター掲示②名刺にシンボルマーク③封筒などにシンボルマーク	済	○
193	H27.11.10	富士ゼロックス三重株式会社	「観光サービス支援Solution Fair 2015」のお客様への案内チラシにシンボルマーク掲載	済	○
194	H27.11.11	株式会社クラユニコープレーション	ホームページ、名刺、商品チラシへサミット応援メッセージの掲載	済	○
195	H27.11.12	株式会社トーエネック 三重支店	三重県内にある10事業場の玄関周辺にサミットのぼりを設置	済	○
196	H27.11.12	NTN株式会社 産業機械事業本部	伊勢志摩サミット・ジュニアサミットPRを目的とした横断幕設置	済	○
197	H27.11.13	-	-	-	○
198	H27.11.13	-	-	-	○
199	H27.11.13	-	-	-	○
200	H27.11.13	-	-	-	○
201	H27.11.13	-	-	-	○
202	H27.11.13	-	-	-	×
203	H27.11.13	-	-	-	×
204	H27.11.13	-	-	-	○
205	H27.11.13	-	-	-	○
206	H27.11.16	-	-	-	○
207	H27.11.16	-	-	-	○
208	H27.11.16	-	-	-	○
209	H27.11.16	-	-	-	○
210	H27.11.16	-	-	-	○
211	H27.11.16	-	-	-	○
212	H27.11.16	-	-	-	○
213	H27.11.16	-	-	-	○
214	H27.11.16	-	-	-	○
215	H27.11.16	-	-	-	○
216	H27.11.16	-	-	-	○
217	H27.11.16	-	-	-	○
218	H27.11.16	-	-	-	後日公表
219	H27.11.16	-	-	-	○
220	H27.11.16	-	-	-	○
221	H27.11.17	-	-	-	○
222	H27.11.17	-	-	-	○
223	H27.11.17	-	-	-	○
224	H27.11.17	-	-	-	○
225	H27.11.17	-	-	-	○
226	H27.11.17	-	-	-	○
227	H27.11.17	-	-	-	○
228	H27.11.19	-	-	-	要確認
229	H27.11.19	-	-	-	○
230	H27.11.19	-	-	-	○
231	H27.11.19	-	-	-	○
232	H27.11.20	-	-	-	○
233	H27.11.20	-	-	-	○
234	H27.11.20	-	-	-	○
235					

伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール

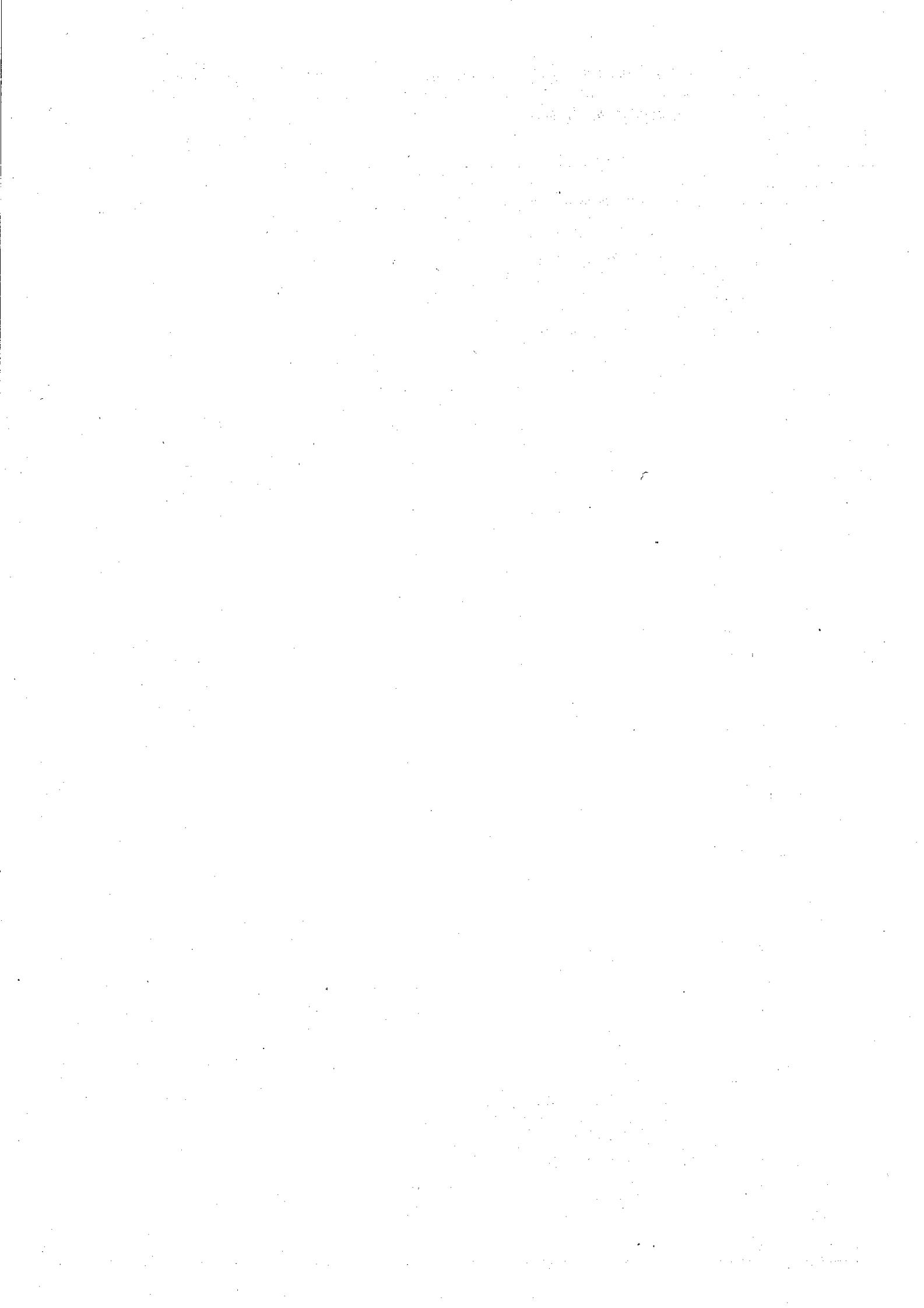
資料4





サミットに関連する会議等の設置に係る各市町の状況(平成27年11月26日現在)

	会議の設置等の有無		今後の設置予定
	有無	名称等	
津市	有	「津市伊勢志摩サミット関連情報連絡調整会議」を設置(6/15)。	一
四日市市	有	「伊勢志摩サミット庁内検討チーム」を設置(8/20)	一
伊勢市	有	「伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議」を設置(6/15)。 庁内調整会議の下に、「おもてなし部会」(7/16)、 「情報発信部会」(9/17)、「安全対策推進部会」(9/17)の3つの部 会を設置。 「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設置(7/31)。	一
松阪市	有	「伊勢志摩サミット松阪市庁内連絡調整会議」を設置(7/24)。	一
桑名市	有	「ジュニアサミット推進課」を設置(11/9)。	市民会議の設置を検討。
鈴鹿市	無	一	無
名張市	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
尾鷲市	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
亀山市	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
鳥羽市	有	「～真珠養殖発祥のまち・海女が日本一多いまち～伊勢志摩サ ミット鳥羽おもてなし会議」を設置(7/13)。 同実行委員会を設置(9/30)。	一
熊野市	有	庁内に熊野市「伊勢志摩サミット」推進会議を設置(6/22)。	一
いなべ市	無	一	無
志摩市	有	庁内に「サミット推進本部」を設置(6/19)。 「企画部サミット推進室」を設置(6/24)。 「伊勢志摩サミット市民会議～光輝く志摩づくり会議～」を設置 (7/3)。 市民会議の下に、「まちの雰囲気づくり部会」、「ひらかれた観光地 づくり部会」、「未来に続く志摩づくり部会」の3つの部会を設置 (7/31)。	一
伊賀市	無	一	無
木曽岬町	無	一	無
東員町	無	一	無
菰野町	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
朝日町	無	一	無
川越町	無	一	無
多気町	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
明和町	有	「伊勢志摩サミット連絡調整会議」を設置(8/1)。	一
大台町	無	一	無
玉城町	無	一	無
度会町	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
大紀町	無	一	無(今後の動向を見て設置を検討する可能性有。)
南伊勢町	有	「伊勢志摩サミット南伊勢町プロジェクト委員会」を設置(6/10)。 庁内に「伊勢志摩サミット南伊勢町庁内会議」を設置(8/3)。 「伊勢志摩サミット南伊勢町民会議」を設置(10/7)。 町民会議の下に、「開催支援・おもてなし部会」、「明日へつなぐ・ 南伊勢の発信部会」の2つの部会を11月中に設置予定。	一
紀北町	無	一	無
御浜町	無	一	無
紀宝町	無	一	無



伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業の状況
-県内市町の地方創生に係る上乗せ交付金と新型交付金への対応について-

1 県内市町の地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）の経過

これまで伊勢志摩サミット市町連絡調整会議において、伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業の検討をお願いしました。その後、地方創生先行型交付金（上乗せ交付分・タイプI）の申請時に、伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業を、①1市町単独が4事業、②複数市町の連携が3事業で申請いただきました。すでに11月10日に内閣府から交付決定があり、①については2事業、②については3事業の採択となりました。

(参考1)

先駆性等を基準として評価を行い、選定する「タイプI」と10月末までに総合戦略を策定するなどを要件とした「タイプII」の2種類があります。

・タイプI…17団体が17事業（283,295千円）を申請

⇒16団体（10事業178,328千円）が採択

（採択率：事業ベースで58.8%、金額ベースで62.9%）

・タイプII…9団体が18事業（87,644千円）を申請

⇒全ての団体が10月末までに総合戦略の策定を終了

(参考2)

ローカルプランディングなど、伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業と方向性が似ている事業で、県外他団体に対して地方創生先行型交付金（上乗せ交付分・タイプI）の交付決定があったものもあります。

①洞爺湖有珠山ジオパーク資源を活用したDMO¹観光地域づくりの連携事業
(交付 94,384千円、北海道洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町)

※上記事業を含め、日本版DMOの立ち上げに向けた事業は、44事業(12道県90市町村)が交付対象事業となっている。

②「明治日本の産業革命遺産」情報発信アプリ制作連携事業
(交付 95,000千円、鹿児島県鹿児島市、福岡県北九州市、長崎県長崎市など8県11市)

2 県内市町の地方創生の状況

各市町の総合戦略の策定予定期限については、平成27年10月末時点において、平成27年10月までが9団体、12月までが5団体、平成28年3月ま

¹ Destination Management/Marketing Organization の略。様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。

ですが15団体となっています。なお、名張市が8月までに、伊勢市、尾鷲市、熊野市、伊賀市、菰野町、大台町、度会町、大紀町が10月までに総合戦略の策定を終えています。

3 新型交付金の状況

「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」の中でも、「従来の「縦割り」の事業を超えた財政支援を行う「新型交付金」を創設する」とされています。その中で、「政府における新型交付金の交付対象とする個別事業の選定・検証については、関係各省庁の参画を得ながら内閣府において対応」することです。

概算要求案では、新型交付金は、「地方創生の深化のための新型交付金」として1080億円が要求されています。また、①先駆性のある取組（官民協働や地域間連携、地方創生の事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成）、②既存事業の隘路を発見し、打開する取組（政策間連携）、③先駆的・優良事例の横展開という、従来の「縦割り事業」を超えた取組を支援するとしています。

また、新型交付金の補足資料の中では、①各団体の総合戦略に裏付けされた事業であること、②KPIの設定、適切なPDCAサイクルの確立がされており、自立性が確保されていること、③ソフト事業が中心であるが、公共事業関係費及び施設整備費のうち地方創生に密接に関連するものも対象とすることといった制度設計が検討されています。

4 その他

市町行財政課では、引き続き各市町の伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業を支援してまいります。特に、官民協働や複数市町の連携による事業については、新型交付金の対象になり得ると考えており、（各団体の総合戦略で裏付けされていることが前提ですが、）今後、ご検討の上、新型交付金の申請に対応していただきたい存じます。

新型交付金による事業は、おそらく、サミット開催後に交付作業等が発生するため、事業内容もサミット開催前よりもサミット開催後のものが多くを占めることと推察します。伊勢志摩サミットを契機とした地方創生事業やポストサミットの事業として、各団体で平成28年度予算の議論がされているとのことです。新型交付金自体が国の平成28年度当初予算で決着される見込みのため、まだ詳しいスケジュール等については未定でございます。引き続き地方創生の事業の支援をしてまいりますので、不明な点等がございましたら、ご相談いただきますようお願いいたします。

伊勢志摩サミット開催記念企画
～統一マークを商品に貼付して一斉に販売しよう～ 第1弾開始

農林水産部
フードイノベーション課

平成28年5月に開催される「伊勢志摩サミット」を契機に、三重県の食材や物産、料理メニューをPRするための企画として、統一マークを商品に貼付し、一斉に販売する企画の第1弾を、以下のとおり開催しました。

企画概要等

- (1) 企画名：「伊勢志摩サミット開催記念企画～統一マークを商品に貼付して一斉に販売しよう～第1弾」
- (2) 企画内容：伊勢志摩サミット開催の機運を高めるため、伊勢志摩サミット県民会議のシンボルマークを活用した「統一マーク」を、多数の商品に貼付し、一斉に販売します。

主な参加条件

- (1) 三重県産の農林水産資源を原料に含んでいる商品であること。
- (2) 農林水産資源を原料に含み、三重県内で生産している商品であること。

統一マークのポイント

伊勢志摩サミット県民会議のシンボルマークを使い、本企画の趣旨が分かるよう「応援商品」と明記し、さらにこの統一マークだけで外国のお客様にも認識してもらえるよう、英語表記も併記しています。

参加事業者数及び商品数

103事業者、710商品

販売期間

平成27年11月21日（土）から順次販売を開始しています。

「三重の食材を知る会」VOL 1を開催します。

農林水産部
フードイノベーション課

県では、県内宿泊施設等の料理人、食材調達関係者等の皆様に、県産食材の魅力をより一層知っていただくことを目的に、「三重の食材を知る会」VOL. 1を以下のとおり、開催します。

1 企画概要

「三重の食材を知る会」では、県産食材を一堂に集め、県産食材の試食提供を行うとともに、生産者や販売事業者等が、
出展生産物の魅力、生産方法、生産者とのこだわり等を説明します。

2 開催日時

平成27年12月1日（火）13時から18時まで

3 開催場所

伊勢安土桃山文化村（伊勢市二見町三津1201-1）

4 出展対象物

県産食材 約50品目（予定）

5 参加対象者

- ・県内の宿泊施設の料理人または食材調達関係者
- ・惣菜、弁当等において、県産食材を使用する意向のある事業者
- ・卸売業において、県産食材を取り扱う意向のある事業者